ヌエバ

NUEVA

革新の42枚パネル

日本リーグ唯一の公式試合球

あなたなら、どうたたかう・・



国際公認球 検定球

42H301WBK
42H201WBK・WR
●手縫い●天然皮革●42枚パネル

SBHB作戦盤



検定球

HSH1
●手縫い●天然皮革●1号球

小学校試合球



国際公認球 検定球

42H310WBK・42H210WBK/WR
●手縫い●天然皮革●42枚パネル

全国中学校大会試合球

molten®

株式会社モルテン

東京本社　東京都墨田区横川5丁目5番7号　TEL(03)3625−7581(代)
東京・大阪・名古屋・福岡・広島四国・仙台・札幌・リノUSA・デュッセルドルフG

巻頭言

3本部制の実施とその意義



日本ハンドボール協会専務理事
市原　則之

近年の国際社会は激しい変革の時代を迎えております。ソビエトは崩壊後に15の国家を生み、ユーゴスラビアも悲惨な民族戦争の末5つに分解し、チェコとスロバキアも分離して、世界はよりワイドでワールド化して、日々刻々と変化を早めております。

その影響で世界経済も大きな変革の時代を迎え、市場経済は容赦なく弱肉強食の競争社会へと変換し、日本もこの余波とバブル経済の崩壊とが重なって、かつて経験のない構造的不況に見舞われ、数年来より誠に厳しい環境下に置かれております。

その中にあって、スポーツ界にも国際化の波が訪れ、オリンピックやワールドカップを初めとする国際的スポーツイベントも、年々参加国が増し巨大化してきております。

我がハンドボール界においても、この国際化の波に乗り遅れることなく、昨年協会創設60周年の記念すべき年にメジャー化へのスタートとして、男子の世界選手権大会を熊本市に招請し、熊本県・市をはじめとする関係各位のご尽力により、大成功裏に収めたことは記憶に新しいところであります。

一方、国内に目を転ずれば、本年23回を数える日本リーグは、運営委員会と各チームの協力により年々新しい企画による活性化が図られて、今シーズンは国際ハンドのニューリーダー国フランスから世界ナンバーワンプレーヤーを迎えるに至りました。

また同時に〝日本リーグの未来図〟を描き、その具体化がやがて地域社会と密着したハンドボール競技の振興と、更にはスポーツ文化の高揚へと結びつくようにと弛まぬ努力を続けております。しかしながら、ハンドボールを文化とし、更なる発展を期する時、将来の小子化に向けた普及対策や、経済状況に左右されない財源基盤の確立など、幾多の課題が横たわり年々事業が拡大されております。

これらの状況に対応していくために、日本ハンドボール協会では機関誌No.386号に示したとおり、本年度から、総務本部、競技本部、強化事業本部の3本部制を施行いたしました。このねらいは、山積する課題の先送りを回避し、タイムリーに処理していくために各専門分野の本部長に、責任と併せて権限をお持ちいただくことにいたしました。いわば、各本部長が専務理事代行となってスピーディーに業務を処理いただくことであります。

日本協会の事務局体制も年々事務量の膨大に伴い、現状の6名の職員とアルバイターでは賄いきれなくなっております。また、決済を仰ぐべく理事会も年3回では間に合わず、業務執行を委ねられている常務理事会も月1回では事が足りません。

このような状況を打開し、スピード化を図り、組織を活性化するために本部制を採用しましたが、これを推進させるために重要なことは、ひとりひとりの役員が従来からの固定観念や既成概念から脱皮して、現代の社会環境に受け入れられる意識改革を行わなければなりません。従来の親分子分の縦割り社会は最早スポーツには不要となっております。

将来のハンドボール界を支えていただく若い人材確保のためにも、我々自身が意識を変えて、ますますの発展を目指したいと考えております。格段のご指導をお願いいたします。

協会だより

平成10年度7月常務理事会

日　時　7月3日（金）
　　　　13時00分～15時00分
場　所　東京体育館　第4研修室
出席者　中澤副会長、専務理事
　　　　常務理事8名、監事1名
　　　　事務局2名

1　第5回アジア女子ジュニア選手権関連事項

（1）組み合わせ抽選会について
7月13日に、代々木第2体育館で実施。参加五カ国の報告があり、立会人にAHF理事の渡邊副会長を依頼。AHF競技規則について、強化部で確認しておくこと等を申し合わせた。選手団団長に緒方氏を了承。

（2）日本協会役員派遣について
日本協会役員について、役割担当を含め了承。

2　'98ジャパンカップについて
大会要項について報告。協賛企業について確認と広告協賛金支援のお願いすることにした。
参加チームは、男子オーストラリアナショナルチーム、女子スロバキアクラブチーム、男女日本リーグ選抜、男女U－23チーム、並びに日本ナショナルチームで男女各4チームの報告。日本リーグ選抜のチームスタッフについては、強化部で選出することで了承。

3　平成10年度第1回オーナー会議の進め方等について
新執行体制、新役員の紹介、日本リーグ機構組織の説明、日本リーグ部長会開催についての説明を目的として開催。オーナー会議をより実務的にするために、部長会へ移行することで了承を得る。

4　斎藤名誉会長祝賀会の進行について
斎藤名誉会長オリンピックオーダー金賞受賞祝賀会について、出席者の確認、祝辞、会場配置等の確認をし、進行について検討した。

5　登録制度の見直しの今後の進め方について
登録制度の見直しについて、プロジェクトチームを組織し推進すること、主旨についてハンドボール文化を作ること、登録金は指導普及の財源とすること等の意見があった。

6　その他
（1）第49回全国高校選手権大会女子決勝戦のNHK放映が決定。解説者について、了承した。
（2）平成10年度叙勲について確認
（3）第4回ヒロシマ国際大会に参加する日本協会役員の日程を申告するように依頼。
（4）第5回アジア女子ジュニア大会参加イラン役員について
（5）AHF・PDO推薦について再確認
（6）アジア大会プレ大会に男女とも愛知教員参加
（7）第2回日韓スポーツ交流事業について、女子のみ受け入れ。（8月11日～16日）派遣は、8月24日から29日まで実施。男子は強化事業として同時期に韓国遠征実施。
（8）スケジュール委員会について本部長会で検討。
（9）第5回アジア女子ジュニア大阪大会予算について検討
（10）財務関連ミーティングを8月実施に向け計画

新生全日本女子欧州遠征終わる

伊藤宏幸監督(日立栃木：Ｂ級コーチ)、黄慶永コーチ(日本協会強化コーチ)就任後、初の新生全日本によるチェコ、オーストリア、スロバキア、ハンガリーの4ケ国への欧州遠征が行われた。アジア大会(バンコク)、世界選手権(ノルウェー)、シドニーオリンピックへと続く長い挑戦への第一歩である。アジアに閉じこもらず、本場ヨーロッパでの長期にわたる遠征で得たものは少なくない。

遠征期間、メンバーは6月号で既報の通り。遠征は5月26日に成田を発ち、6月26日に帰国する32日間で、16試合をこなすというハードスケジュールで行われた。結果は8勝7敗1分であった(詳細は別表)。移動期間を除けば、毎日ゲームや練習を行い、ゲームが午後から計画されている日でも午前中に練習を行ったこともあり、選手にとっては肉体的にも精神的にも辛い遠征となった。

初の全日本チーム参加者や、初の本場ヨーロッパでのゲーム、新チーム結成後間もないこともあり、はじめの3戦はリズムに乗れなかったが、ゲームを重ねるに従い徐々に成果が表れてきた。また、敗れはしたもののチェコナショナルとは互角のゲームが出来、スロバキアの1部リーグ相手に3勝1敗1分、ハンガリー1部にも完勝した。今遠征で一番の大型チームであるヒポ銀行（オーストリアナショナルと同等のチーム）戦では前半互角に戦うことが出来たが、後半足が止まり、イージーミスからの連続失点で、大型チームとの戦い方に課題が見られた。

攻撃のスピードは十分通用することがわかったが、スタミナ、筋力に課題が見られ、今後一層の基礎体力の強化が必要である。また、全員にプレーチャンスを与え、各人が各人の役割を果たし、今後の課題を発見することができたことも収穫である。

女子ナショナル欧州遠征　結果

平成10年5月25日～6月26日

試合日	結果
第1戦　5月27日	● 日本 21 [11－9 / 10－13] 22 チェコ1部リーグ Casino Astor Ched
第2戦　5月29日	● 日本 23 [11－16 / 12－16] 32 チェコJrナショナル
第3戦　5月30日	● 日本 22 [10－15 / 12－10] 25 チェコJrナショナル
第4戦　6月2日	○ 日本 31 [9－11 / 22－14] 25 チェコ1部リーグ Slavia Phara
第5戦　6月3日	● 日本 30 [9－9 / 7－8 / 5－8 / 9－7] 32 チェコ ナショナル
第6戦　6月6日	● 日本 19 [7－11 / 12－10] 21 チェコ1部リーグ3位 SK･HC･Veseli
第7戦　6月7日	○ 日本 26 [9－9 / 17－11] 20 チェコ1部リーグ5位 Zora Olomouc
第8戦　6月8日	○ 日本 26 [15－9 / 11－12] 21 チェコ1部リーグ3位 SK･HC･Veseli
第9戦　6月10日	● 日本 21 [11－13 / 10－19] 32 オーストリアナショナルと同等のチーム Hypo Bank
第10戦　6月12日	○ 日本 25 [6－13 / 19－11] 24 スロバキアリーグ1部3位 Plastiki Nitra
第11戦　6月13日	● 日本 21 [12－14 / 9－12] 26 スロバキアリーグ1部6位 SC Zlatna
第12戦　6月15日	○ 日本 22 [13－12 / 9－9] 21 スロバキアリーグ1部5位 Partizanske
第13戦　6月16日	○ 日本 35 [20－13 / 15－9] 22 スロバキアリーグ1部3位 Plastika Nitra
第14戦　6月17日	○ 日本 33 [16－14 / 17－4] 18 スロバキアリーグ2部 SH Nesvady
第15戦　6月18日	△ 日本 22 [9－14 / 13－8] 22 スロバキアリーグ1部2位 SCP Banska Bystrica('98ジャパンカップに参加チーム)
第16戦　6月24日	○ 日本 28 [17－6 / 11－8] 14 ハンガリー1部 Dorog

第3回女子世界学生選手権大会に参加して——

近い将来、必ず世界と肩を並べられる

団長　久保義雄

6月下旬から7月上旬にかけ、ヴロツワフ（ポーランド）で開催された世界学生選手権大会に、前回に引き続いて参加する機会を得て、世界の学生チームと国の名誉をかけての激しい戦いに接することができた。各国チームの役員は再度のこと故、顔なじみの方が多く、笑顔で握手と挨拶を交わすことができたのは幸運であった。

役員宿舎のホテルを辞退し、各国の選手たちが寝泊りしている学生寮に宿を選び、食事は学生食堂で各国の選手団と共にした。各試合の経過並びに問題点については、監督、コーチに譲るとして、この約2週間の滞在中にいろいろと経験をし、感じたことを話して参考に供したい。

(1)

まず試合前日の6時より代表者会議がありＦＩＳＵ及び組織委より種々の報告があり、最後に議題にはなかった次回の開催国について、注目の中にフランスと決定された瞬間には出席者の多くのメンバーから拍手が起こった。言葉の問題もあって張りつめた会議だけにホッとした雰囲気になり、やっと旧共産圏を離れた国での開催に一同歓迎の意を表した。私自身も何か明るい気分になり、次回をめざす選手たちには夢も希望も与えられる結果になったと思っている。

(2)

今回は南米よりブラジル、アフリカよりアルジェリア、極東から中国と日本と、参加国の範囲が地球全体に広がっているのは喜ばしいことであった。残念だったのはＦＩＳＵ及び組織委にエントリーをすませ、保証金も支払い済のウクライナチームが経済的理由なのか、その他の理由なのか判明しない中に、直前になって不参加となった。同じようなことでロシアのチームもまた試合時間になっても到着しなかった。世界選手権という国際試合だけに経済的、国際的な種々難しい問題が秘められているように思えた。

(3)

この選手権の期間中、サッカー・ワールドカップの決勝トーナメントと重なり、夕方になるとテレビにてその実況放映があったが、この学生選手権に出場しているほとんどの国のチームがサッカーでも同じく決勝トーナメントに残っていて得点したり、勝利を収めた瞬間にはその国のチームは飛び上がって喜び歓喜して握手を求められる場面がしばしばあった。その点、日本チームはテレビホールでは淋しい思いに追いやられた。選手権の優勝はオランダチームが獲得したが、彼女達のユニフォームの胸には、ＴＯＹＯＴＡのマークがあった。日本チームは1勝5敗の成績だったが、1、2点で泣いたのが2試合もあり、1点の重みを感じさせられた。それでもここまで来た以上次は必ず1、2点をはね返してほしいと思う。日の丸をつけて戦う以上、勝たなければならない。

(4)

閉会式が終わって私は貴賓室へＦＩＳＵ及び組織委の代表に挨拶に行った。日本の連続参加を喜んでくれると同時にマナーの良さ、フェアプレイ等の賛辞を受けて退室する際にＦＩＳＵの代表が私と同行されるので、何事かと思って

いたところ、日本選手団全員に前述のような賛辞を贈りたいと英語で話され笑顔で引き上げて行かれた。ほのぼのとした気分にさせられた。因にフェアプレイ賞はフランスが得たが、データでは第2位は日本であった。とるにたりないことかもしれないが日本選手団には毎朝、学寮の前の駐車場に選手役員、27名全員が円陣になって朝の体操をしてから食堂に入る。こういう光景は参加国の中では日本チームだけであった。今ひとつは食堂に行くのに信号機のある交差点を渡るのだが、ほんの僅か40～50mの近道を選んで車道を横切り分離帯を抜けて行く各国の選手たちに比べれば、交差点を渡って行く我々のチームはこれもまたすばらしいマナーかなと私自身感心した。

(5)

最後に「ハンドボール」7月号にあげられていたが、この女子世界学生選手権大会に、6ペアの女性ヨーロッパ大陸国際レフェリーのIHF公式講習会が開かれ、実際の笛をこの大会で多く吹いた。レフェーリースタイルになると女性か男性かの区別もつかないし、決して遜色のない笛を吹いていた。若干、直接プレーに関係のないプレイヤーの反則などで試合の流れを止めるという場面も見られたが、IHF審判員の見つめる中でのレフェリングに、多少緊張し過ぎの点も見られた。やがて世界の桧舞台への彼女たちの登場も遠くはないだろう。今年の暮れには男子の世界学生選手権がユーゴで開催されるので、男女ともユーゴペアには「年末には貴国に男子チームが訪れるのでどうかよろしく」とディナーパーティの席で談笑した。お互いに拙い英語で話すのだが何とか理解できたのは嬉しかった。

結論として世界のプレーが手の届くところに来たように感じ、一貫性の強化に留意すれば必ず近い将来、肩を並べられると思うし、そのように我々関係者が意を尽くして努力しなければならないと思う。

グループ分け

■A組
ルーマニア
チェコ
日本
リトアニア
アルジェリア

■B組
ポーランド
フランス
ドイツ
オランダ
中国
ブラジル

試合結果

■予選リーグ

日本
21
11　10
－　－
11　11
22
チェコ

(戦評) 日本は3－2－1、チェコは6－0防御システムで戦った。日本は9分、10分に連続退場し、3－5とリードを許す。14分、速攻を岡野が得点し、5－5の同点とした後、村上のステップと橋詰のポストで7－5と2点リードする。しかし18分、橋詰の退場を機に同点とされ、その後1点差の攻防が続き、残り1秒でチェコのシュートで得点され、11－12で前半を終了する。

後半3分までにチェコ2番の10点目の得点と5番の左サイドの得点で11－14と3点リードを許す。日本は4分から板谷、村上、橋詰の3連続得点で同点にするが、9分の退場を機に再び3連続失点を喫する。終盤48分から山田、坂本の速攻、山田のミドル、板谷の突破の4連続得点で55分に21－19と2点リードする。しかし追いすがるチェコに56分ポスト、57分7mT、58分突破で3連続得点を許す。終了30秒前に橋詰がノーマークを放つがチェコGKに阻まれ、21－22の1点差で惜敗する。

日本チームの反省点は、残り5分2点リードの場面での攻撃方法。前半GK田中のリバウンドからの4失点、7mT、退場2回を奪われた両サイドの防御方法である。

日本
24
15　9
－　－
16　10
26
リトアニア

(戦評) 前半の立ち上がり、ディフェンスの足がよく動き、相手のセットオフェンスを守り切り、岡野、橋詰の速攻での速攻で4－2とリードする。その後、相手8番のシュートと7mTにより、4－4となり、中盤は一進一退で進む。しかし終盤にポストプレーを中心に4連続失点で10－8とリードされ、板谷が1点を返し、10－9で前半を終了した。

後半は相手エースの10番がケガで欠場し、日本は1人退場の状況からスタートした。後半は防御の足が止まり、また、6分、7分と連続退場となり、この間に相手5番のカットインなどで13分には19－13と6点差となった。その後は6人のリズムも戻り、山田のカットインやペナルティー、村上のカ

ットインで追い上げ、59分には25ー21と4点差となり、残り3分、ここから岡野の速攻、早川の速攻、坂本のサイドシュートで25ー24と1点差とし、残り1分。ラストのリトアニアの長い攻撃から不意をつかれステップで26ー24となり勝敗を決した。
　後半の立ち上がりの退場でリズムをくずしたことやセットのリズムの悪さが影響したゲームであった。

日本		ルーマニア
24		36
13	ー	17
11	ー	19

（戦評）日本は3ー2ー1、ルーマニアは5ー1防御を中心にゲームは展開された。日本は速攻とコンビネーションプレーで前半19分まで9ー10と善戦したが、20分から連続5失点を含め、9失点し、11ー19の8点差で前半を終了する。
　後半8分までにルーマニア9番に3得点され、13ー25と試合の大勢が決まる。10分以後日本は村上、伊藤、岡野らの速攻と突破で得点を重ねるが、体格とボールキープ力に上回るルーマニアを捕らえることが出来ず、24ー36で終了する。
　GKからセンター、及び45度までの速攻のつなぎとテンポ、帰陣してからのボールチェック、ポストプレーヤーへのパスインターセプトと、ポストの動きの阻止が反省されるゲームであった。

日本		アルジェリア
18		20
7	ー	12
11	ー	8

（戦評）前半の立ち上がりは、防御での足がよく動き、伊藤の速攻でスタートした。しかしアルジェリア10番の強引なミドルで2ー1とされ、その後、板谷の7mT、岡野の速攻、伊藤のカットイン、山田のペナルティーの4連続得点で5ー2とリードした。27分には10ー6と4点差とし、29分には相手1人退場というチャンスを迎えた。しかし、ここでディフェンスのミスにより逆に相手に1点を与え、11ー8と3点差で前半を終了した。
　後半は、相手が1人退場の優位な状況からスタートしたが、攻撃にリズムがなく、アルジェリアに4連続得点を許し、12ー11と逆転を5分間で許してしまった。ここからアルジェリア2点の間に日本が1点というペースとなり、なかなか点差がちぢまらず、57分に18ー15ととなったところで、再度相手の退場で日本優位な状況となったが、ここで得点がとれず、20ー18で敗れた。
　後半の立ち上がりの点を取るべき時にとれず、アルジェリアのリズムを生み出してしまったことが大きいと思われる。

【順位決定戦】

日本		ブラジル
24		22
14	ー	8
10	ー	14

（戦評）日本は3ー2ー1、ブラジルは6ー0防御でゲームした。前半、両チームとも動きが悪く、パスミスやオーバステップ等が目立ち、9分で僅かに2ー1。15分からブラジル18番がミドル、突破と活躍し、日本は守りが後手になり退場や7mTを奪われ、速攻・セットともミスが続出し、10ー14で前半を終了した。
　後半、出だしの数的不利をしのいだ日本は、14分までに岡野の速攻や山田のステップ、坂本のサイドなどで9連続得点し、一気にゲームの主導権を奪い返した。その後、ブラジルは18番サンドラを中心に必死に追い上げたが、GK田中の好セーブに阻まれ、同点にすることが出来なかった。結局24ー22で日本チームが逃げ切った。
　日本は9ー10位決定戦に進めたが、個人的ミスを反省すべき試合であった。

【9ー10位決定戦】

日本		ポーランド
23		25
12	ー	11
11	ー	14

（戦評）前半立ち上がりから10分までは日本は橋詰の速攻や板谷のシュートで、ポーランドは2番のカットインやポストプレーを中心にして4ー4でスタートした。14分に伊藤の退場があり、ディフェンスと攻撃のリズムがくずれ、サイドシュートで連続失点し、7ー4とリードされた。ここからは、日本は村瀬の速攻やポストシュート、坂本の速攻で得点を重ね、一方ポーランドは2番のセンターと10番のポストのコンビプレーと、前に出ているディフェンスの裏への走りを中心にした攻撃で14ー11と3点差で前半を終えた。　後半は村瀬のシュートで14ー12、2点差にしてのスタート。しかし、前半同様にポーランド2番のカットインで2連続失点し、16ー12。山田の7mT、早川の速攻で追い上げ、ここで日本はポーランド2番にマンツーマンディフェンスをし

かけた。この後はまたマンツーが徹底せず3連続失点するが、相手のリズムがくずれはじめ、15分の21－16の5点差かに25分の10分間でディフェンスからの速攻を中心に板谷のカットイン、早川の速攻、坂本のサイドシュートで22－21の1点差まで詰め寄った。残り5分の勝敗となり、日本は相手のリズムをくずしての速攻で何度かのチャンスがあったが、パスミスやキャッチ、シュートミスがこの場で出て、逆転のチャンスはあったが得点とならず、残念ながら25－23の2点差で敗れ、10位となった。

この大会を通じて2～3点差のゲームが4～5試合あり、その中でチャンスはありながら最後の攻撃、防御のつめの甘さから負けるというゲームがここでも出てしまった。

【最終順位】

①オランダ
②ルーマニア
③チェコ
④フランス
⑤ドイツ
⑥中国
⑦リトアニア
⑧アルジェリア
⑨ポーランド
⑩日本
⑪ブラジル

第3回女子世界学生ハンドボール選手権大会

		6月28日 結果 21－22		6月30日 結果 24－26		7月1日 結果 24－36		7月2日 結果 18－20		7月4日 結果 24－22		7月5日 結果 23－25		134－151	
		チェコ戦		リトアニア戦		ルーマニア戦		アルジェリア戦		ブラジル戦		ポーランド戦		合計	
選手	氏名	得点	退場	得点	退場	得点	退場	得点	退場	得点	退場	得点	退場	得点	退場
K 1	細谷若菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	倉　和子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	田中麻美	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P 2	岡野早苗	2	0	6	1	3	0	4	0	5	0	2	0	22	1
3	橋詰とね	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	7	2
4	板谷寛子	4	1	4	1	2	0	5	0	5	1	4	1	24	4
5	伊藤智絵美	0	0	0	0	7	0	4	0	1	1	0	0	12	1
6	村上麻美	3	0	2	2	3	1	0	0	2	2	2	1	12	6
7	大石真代	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
8	村瀬　雅	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	4	0	7	2
9	金城晶子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	坂本久美	3	0	3	0	1	1	0	0	3	0	4	0	14	1
11	藤田小百合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	早川まゆみ	0	0	3	0	1	1	3	0	1	0	2	0	10	1
14	山田永子	4	0	3	0	5	0	2	0	6	0	3	0	23	0
15	中後美希	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		21	4	24	6	24	4	18	0	24	4	23	2	134	20

第4回ヒロシマ国際ハンドボール大会

ハンドボールを通じて親善と友好の輪が広がる!!

広島県ハンドボール協会副理事長（広報担当）　山本　一

この大会は今年で4回目を迎えますが、1994年に広島市で開催された第12回アジア競技大会を記念して、その翌年から広島県、広島市の財政支援のもと東区スポーツセンターで行われています。この大会の目的にもありますように国際平和文化都市を標榜する広島市で国際大会を開催する意義はとても大きいものがあります。参加する各国の役員、選手が広島の地に集まりハンドボールを通じて、親善と友好の輪が広がることはとても素晴らしいことといえます。さらには、久しくオリンピックに出場していないわが日本ナショナルチームがこの大会でいっそうの飛躍を遂げてくれることを期待することは言うまでもない大きな目的です。

今大会参加チームにつきましては、日本協会野田清強化部長、蒲生晴明日本ナショナル監督とも連絡を取りながら決定しましたが、昨年の12月時点ではアメリカでのGOOD WILL GAMESとの関連もあり、7月開催であれば、ヨーロッパよりチェコ、スペイン、フランス、ハンガリーの中から1～2チーム、アジアから広島県協会と毎年交流を続け、すでに内諾を得ている中国に加え、中東からアラブ首長国連邦（UAE）、カタール、バーレーンの中から1カ国を呼んで欲しいとのことでした。そこで、チェコ、中国、UAEの3カ国へ向け3月1日正式招聘状を日本協会からFAXしました。チェコからは経費の点から断りの連絡がありましたが、中国、UAEからは快諾の返事がありました。そこでチェコの代わりの国を探すことになり紆余曲折の末、蒲生監督が交渉してくれた去年の世界選手権で5位に入ったアイスランドに決定しました。

参加チームが決定したことで準備作業にも拍車が掛かってきましたが、ここで思わぬ事が起きました。参加の返事をしていたUAEと連絡が取れなくなりました。日本協会からも再三にわたり、返事の催促をしていただきましたが、最終的には6月29日のFAXでNOの返事が届きました。こうした中、野田強化部長とも常に連絡を取っていたので次代の日本ナショナルを背負う学生選抜の日本U－23が出場することとなったわけです。12月の世界学生選手権に出場するU－23チームにとってはまたとない腕試しの機会を得られたという事で首脳陣には喜ばれました。

大会準備は参加チームの決定が遅れたため、ポスターの印刷も待ってもらいましたが、チケットについてはすでに印刷を終えていたため、急遽UAEの上にシールを貼るということにしました。そのほかの準備につきましては毎年のことなので予定通り進めていきました。

チームは7月20日の中国、全日本を皮切りに22日までにすべて広島に揃いました。22日に成田についたアイスランドチームの荷物がロンドンに残るというハプニングもあり、アイスランドチームの選手係をした湧永製薬の高田君が心配して神経をすり減らしたのも今にして思えば笑えない思い出です。

また、今大会からは中国新聞社に主催に加わっていただき大会のPR面で支援していただきました。

競技運営は日本協会の市原則之専務理事を運営本部長とする組織で、補助役員の高校生を含む総勢94名体勢で臨みました。（1日当たり約70名実働）

大会は7月23日の広島市長表敬、広島県知事表敬、プレス発表、代表者会議と儀式で始まりました。広島市長表敬ではあいにく平岡敬広島市長は上京中でしたが上川孝


全日本対アイスランド。全日本・中山選手


中国対全日本U－23の試合

明助役が応対され、「この大会を第40回大会となるまで続けて下さい。」と激励のお言葉をいただいたことが特に印象深く心に残っています。いよいよ24日から中国対日本ナショナル戦を皮切りに大会が始まりました。結果については別表の通りですが、各チームについて列挙してみます。

【アイスランド】メンバーは昨年の熊本世界選手権メンバーから5名出場。シーズンオフの為、来日当時は観光気分かに見えたが、試合を重ねるごとに底力を発揮し、得点源であるシグルトソン、ヨナソンらの活躍は観客を魅了するものがあった。非常に好日的なお国柄とみえ、私たちもとても気持ちよく対応できた。

【中国】シドニー五輪を目指したチーム作りをしているチームで、17才から26才までの選手で編成されたチームでゲームには20才前後の選手が主に出ていた。ゲーム運びやプレーは荒さが目立ち、中国チームの役員も技術的にも対戦した他の3チームより劣っているのでメンバーの再編成も考えなくてはいけないと語っていた。しかしながら中国チームは役員以下大変意欲的で、今回も招聘のときから、1週間前からの来日を強く希望し、連日テストマッチを希望していた。


最終日の試合の前に行われたハンドボール教室の風景

【日本U－23】今年12月に行われる世界学生選手権大会に出場するチームで、メンバーは全日本学生選抜チームである。合同練習もなかなかできないが、今大会では非常によく健闘したと言える。松監督も『まだ各自の力を十分に発揮しているとは言えないが、潜在能力は高いものがあるので最終日に中国に勝ったことは選手にとって自信になる』と言っていた。

【日本ナショナル】大会直前まで、湧永製薬で合宿をして広島に入った。大会前のプレスインタビューでは蒲生監督も当然1位を狙いますと言っていた。中国、U－23との対戦では実力差を見せ、楽勝であった。最終戦のアイスランド戦では、前半GK橋本選手の好セーブもあり、12－11の1点リードと互角以上の戦いであった。後半に期待を抱かせたが、肝心なところでミスが出て、連続得点をされるケースが目立ち敗れた。蒲生監督もスピード重視の攻撃を求めているので、選手にも戸惑いがあると思うが、大会直前におこなったヨーロッパ遠征から進歩が見られないと手厳しい評価を下していた。


日本ナショナル対アイスランド。日本・冨本選手

大会通じて感じたことで主なことを列挙してみます。

1、観客動員について毎回いろいろ方策を講じているのですがなかなか思うようにいきません。土曜日、日曜日はまずますの入りですが、ウイークデーの金曜日の夜のゲームの対策を考えなくてはなりません。また、ジュニア層(中高生)の観客が少ないのもこれからのハンドボールを思うと気になります。

2、来年度以降はジュニアの国際ゲームも取り入れてみたいと思います。また、参加チームについては早めに相手国と折衝し、参加国を決定して大会の事前PRに勤めたいと思います。

3、ハンドボールを広める観点からも、テレビによる実況中継を取り入れるべく働きかけを行っていきたいと思っています。

4、今大会を通じて反省すべき点は、広島では1991年のアジア選手権以来毎年のように国際試合を行ってきましたが、そのことで私たち役員にも慣れが生じ、細かな気配りに欠けていたことです。今一度原点に帰ることが必要かと思います。

最後になりましたが、ヒロシマ国際ハンドボール大会を開催するにあたりご支援いただきましたが全国のハンドボールファンの方に厚くお礼申し上げます。また大阪で行われるアジア女子ジュニア選手権大会の成功をお祈り致します。

第4回回ヒロシマ国際ハンドボール大会結果

チーム	ISL	JPN	U－23	CHN	勝	負	分	勝点
ISL		29 (10－11, 19－12) 23	34 (16－8, 18－15) 23	29 (15－6, 14－13) 19	8	0	0	6
JPN	23－29		29 (18－4, 11－8) 12	24 (11－6, 13－8) 14	2	1	0	4
U－23	23－34	12－24		27 (13－6, 14－11) 17	1	2	0	2
CHN	19－29	14－24	17－27		0	3	0	0

順　位　1位　アイスランド　2位　日本ナショナル
3位　日本U－23　4位　中　国

招待試合　岩国工業高校　23 (15－6, 8－6) 12　広島県高校選抜

平成10年度　全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第49回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

〈男子成績〉

優勝・横浜商工

学校	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝
横浜商工高等学校(神奈川)		23	30	24	28	26
岡崎城西高等学校(愛　知)	26	20				
県立鹿児島工業高等学校(鹿児島)	13					
県立池田高等学校(徳　島)	16	17				
県立境高等学校(鳥　取)	12					
県立野辺地高等学校(青　森)		28	13			
県立伊奈高等学校(茨　城)		21	17			
育英高等学校(兵　庫)	23	20				
県立松山工業高等学校(愛　媛)	15					
県立北村山高等学校(山　形)	12					
金沢市立工業高等学校(石　川)	24	22				
興南高等学校(沖　縄)		30	28	15		
北陸高等学校(福　井)		21	20	25	21	
県立香川中央高等学校(香　川)	15	19				
駿台甲府高等学校(山　梨)	11					
県立河瀬高等学校(滋　賀)	20					
修道高等学校(広　島)	23	13				
県立香椎高等学校(福　岡)		25	16			
中越高等学校(新　潟)		16				
仙台育英学園高等学校(宮　城)	19					
市川高等学校(千　葉)	28	34	16			
県立神埼高等学校(佐　賀)	20					
県立四日市工業高等学校(三　重)	29	19				
比花学院高等学校(大　阪)		27	23	21		

A20

学校	1回戦	2回戦	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝
大分国際情報高等学校(大　分)		23	30	27	20	22
学校法人石川高等学校(福　島)	22	16				
清水市立商業高等学校(静　岡)	14					
県立小山南高等学校(栃　木)	18					
県立総社高等学校(岡　山)	24	21				
県立紀北農芸高等学校(和歌山)		24	19			
高岡向陵高等学校(富　山)		21	24	19		
大谷高等学校(京　都)	23					
浦和学院高等学校(埼　玉)	29	20				
県立岡豊高等学校(高　知)	18					
県立都城工業高等学校(宮　崎)	33	21				
県立不来方高等学校(岩　手)		23	21			
県立松江工業高等学校(島　根)		22				
北海道函館工業高等学校(北海道)	15					
長崎日本大学高等学校(長　崎)	22	33	24	17		
県立羽後高等学校(秋　田)	26	33	23			
県立富岡高等学校(群　馬)	13					
県立岐阜商業高等学校(岐　阜)		17				
明星高等学校(東　京)		22				
熊本市立商業高等学校(熊　本)	21	32	8			
県立北大和高等学校(奈　良)	13					
県屋代高等学校(長　野)	17	10				
県立三好高等学校(徳　島)	16					
県立岩国工業高等学校(山　口)		30	19	19	18	

平成10年度　全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第49回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

〈女子成績〉

学校						
府立洛北高等学校(京　都)		16	16	14	26	11
県立青森中央高等学校(青　森)	6					
県立横浜日野高等学校(神奈川)	20	10				
県立巻高等学校(新　潟)	4					
暁高等学校(三　重)	22	10				
熊本国府高等学校(熊　本)		18	8			
県立北村山高等学校(山　形)		12				
初芝橋本高等学校(和歌山)	8					
県立那覇西高等学校(沖　縄)	23	17	19	11		
県立松山北高等学校(愛　媛)	17	11				
山陽女子高等学校(広　島)	11					
県立山梨高等学校(山　梨)		22	11			
聖和学園高等学校(宮　城)		10				
埼玉栄高等学校(埼　玉)	24	26	25	17		
宮崎女子高等学校(宮　崎)	11					
県立境高等学校(鳥　取)	20	14				
県立池田高等学校(徳　島)	16					
高岡向陵高等学校(富　山)		27	18			
県立麻生高等学校(茨　城)		24	20			
県立静岡城北高等学校(静　岡)	20	15				
県立岡豊高等学校(高　知)	14					
県立大分舞鶴高等学校(大　分)	40	23	21	32	17	
見屋代高等学校(長　野)	12					
夙川学院高等学校(兵　庫)		19				

優勝・洛北

学校						
四天王寺高等学校(大　阪)		25	26	22	21	10
県立増田高等学校(岐　阜)	26	13				
県立香川中央高等学校(香　川)	20					
県立栃木女子高等学校(栃　木)	29	25				
県立郡山東高等学校(福　島)	15					
筑紫女学園高等学校(福　岡)		20	14			
県立盛岡第二高等学校(岩　手)		22	24			
市立守山女子高等学校(滋　賀)	13	12				
県立佐世保西高等学校(長　崎)	9					
県立華陵高等学校(山　口)	20					
小松市立高等学校(石　川)	27	20	26	14		
県立富岡東高等学校(群　馬)		17				
県立添上高等学校(奈　良)		16	25	13		
北海道釧路西高等学校(北海道)	5					
県立鹿児島南高等学校(鹿児島)	22	14				
県立江津高等学校(島　根)	24	6				
県立鳴門高等学校(徳　島)	8					
昭和学院高等学校(千　葉)		28	21			
県立倉敷中央高等学校(岡　山)		8				
県立神埼清明高等学校(佐　賀)	9					
県立大曲農業高等学校(秋　田)	21	19	16			
文化女子大学付属杉並高等学校(東　京)	10					
県立福井商業高等学校(福　井)	14	14				
東海女子高等学校(愛　知)		17	23	16	11	

第18回全国クラブハンドボール選手権大会・東地区大会

男子は蓮田クラブ、女子は佳英クラブが優勝

第18回全国クラブハンドボール選手権大会・東地区大会は、７月24日から26日まで、福島県本宮町総合体育館で男子12チーム、女子８チームが参加して開催された。

男子は蓮田クラブが甲府クラブをくだし、女子は佳英クラブが萩江クラブをくだして優勝を飾った。

試合結果は下記のとおり。

男　子

【予選リーグ】

Aブロック

	蓮田	山形	新潟	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
蓮田クラブ		23○16	18○17	2	0	0	4	41	－33	8	1
山形クラブ	16×23		21○12	1	0	1	2	37	－35	2	2
ＨＢＣ新潟	17×18	12×21		0	0	2	0	29	－39	－10	3

Bブロック

	湖陵	小金	花巻	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
湖陵クラブ		23○19	22○17	2	0	0	4	45	－36	9	1
小金クラブ	19×23		23○14	1	0	1	2	42	－37	5	2
花巻クラブ	17×22	14×23		0	0	2	0	31	－45	－14	3

Cブロック

	学石	FST	北志	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
学石クラブ		15○13	26○16	2	0	0	4	41	－29	12	1
FST	13×15		23○17	1	0	1	2	36	－32	4	2
北志クラブ	16×26	17×23		0	0	1	0	33	－49	－16	3

Dブロック

	甲府	三崎	県石	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
甲府クラブ		12○９	26○５	2	0	0	4	38	－14	24	1
三崎クラブ	９×12		25○13	1	0	1	2	34	－25	9	2
県石OB	５×26	13×25		0	0	1	0	18	－51	－33	3

【決勝トーナメント】

■準決勝

蓮田クラブ　26（14－8／12－11）19　湖陵クラブ

甲府クラブ　29（11－13／9－7）24　学石クラブ
（6－2延長3－2）

■決勝

蓮田クラブ　28（15－11／13－13）24　甲府クラブ

【本宮町杯トーナメント】

■準決勝

小金クラブ　31（12－10／19－8）18　山形クラブ

三崎クラブ　22（12－7／10－8）15　F　S　T

■決勝

小金クラブ　24（15－8／9－13）21　三崎クラブ

女　子

【予選リーグ】

Eブロック

	生浜	野辺地	氷見	御城	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
生浜クラブ		18○８	15○14	18○８	3	0	0	6	51	－30	21	1
野辺地クラブ	８×11		12○10	13○12	2	0	1	4	33	－33	0	2
氷見クラブ	14×15	10×12		12○６	1	0	2	2	36	－33	3	3
御城クラブ	８×18	12×13	６×12		0	0	3	0	26	－43	－17	4

Fブロック

	佳英	萩江	本宮	札幌	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
佳英クラブ		16○14	16○７	16○８	3	0	0	6	48	－29	19	1
萩江クラブ	14×16		24×８	17○６	2	0	1	4	55	－30	25	2
本宮クラブ	７×16	８×24		11○10	1	0	2	2	26	－50	－24	3
札幌さくら倶楽部	８×16	６×17	10×11		0	0	3	0	24	－44	－20	4

【決勝トーナメント】

■準決勝

萩江クラブ　18（8－7／10－8）15　生浜クラブ

佳英クラブ　12（6－4／6－7）11　野辺地クラブ

■決勝

佳英クラブ　19（10－8／9－8）16　萩江クラブ

【本宮町杯トーナメント】

■準決勝

氷見クラブ　16（9－3／7－9）12　札幌さくら倶楽部

御城クラブ　18（11－7／7－2）9　本宮クラブ

■決勝

御城クラブ　18（6－6／6－6）16　氷見クラブ
（2－2延長4－2）

第18回全国クラブハンドボール選手権大会・西地区大会

男子は大瀬クラブ、女子はSHIGOTONINが優勝

第18回全国クラブハンドボール選手権大会・西地区大会は、７月10日から12日まで、高知県高知市民体育館で男子12チーム、女子７チームが参加して開催された。

男子は大瀬クラブが千里関大クラブをくだし、女子はSHIGOTONINが香川レディースをくだして優勝を飾った。

試合結果は下記のとおり。

男子

【予選リーグ】

Aブロック

	総社	AC	京友	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
総社クラブ		23○20	25○18	2	0	0	4	48	−38	10	1
ACウィング	20×23		21○15	1	0	1	2	41	−38	3	2
京友クラブ	18×25	15×21		0	0	2	0	33	−46	−13	3

Bブロック

	大瀬	清商	北九州	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
大瀬クラブ		19○16	22○17	2	0	0	4	41	−33	8	1
清商ヤング	16×19		17△17	0	1	1	1	33	−36	−3	2
北九州クラブ	17×22	17△17		0	1	1	1	34	−39	−5	3

Cブロック

	千里関大	松山	境港	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
千里関大クラブ		22○13	16○15	2	0	0	4	38	−28	10	1
松山送球会	13×22		16○15	1	0	1	2	29	−37	−8	2
境港クラブ	15×16	15×16		0	0	1	0	30	−32	−2	3

Dブロック

	那賀	白石	高知	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
那賀クラブ		24○19	24○11	2	0	0	4	48	−30	18	1
白石クラブ	19×24		24○21	1	0	1	2	43	−45	−2	2
高知クラブ	11×24	21×24		0	0	1	0	32	−48	−16	3

【決勝トーナメント】

■準決勝

大瀬クラブ 20 (11−5 / 5−14) 19 総社クラブ

千里関大クラブ 17 (11−6 / 6−9) 15 那賀クラブ

■決勝

大瀬クラブ 27 (13−9 / 14−12) 21 千里関大クラブ

女子

【予選リーグ】

Eブロック

	香川	下松	L・L・H	松下電工	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
香川レディース		16○13	18○13	23○12	3	0	0	6	57	−38	19	1
クラブ下松	13×16		18○12	17○11	2	0	1	4	48	−39	9	2
L・L・H	13×18	12×18		13×14	0	0	3	0	38	−50	−12	4
松下電工クラブ	12×23	11×17	14○13		1	0	2	2	37	−53	−16	3

Fブロック

	SHIGOTONIN	今治	レキオ	高知	勝	分	敗	勝点	総得点	総失点	得失点差	順位
SHIGOTONIN		21○10	24○11	35○7	3	0	0	6	80	−28	52	1
今治クラブ	10×21		16×22	32○4	1	0	2	2	58	−47	11	3
レキオクラブ	11×24	22○16		40○5	2	0	1	4	73	−45	28	2
高知クラブ	7×35	4×32	5×40		0	0	3	0	16	−107	−91	4

【決勝トーナメント】

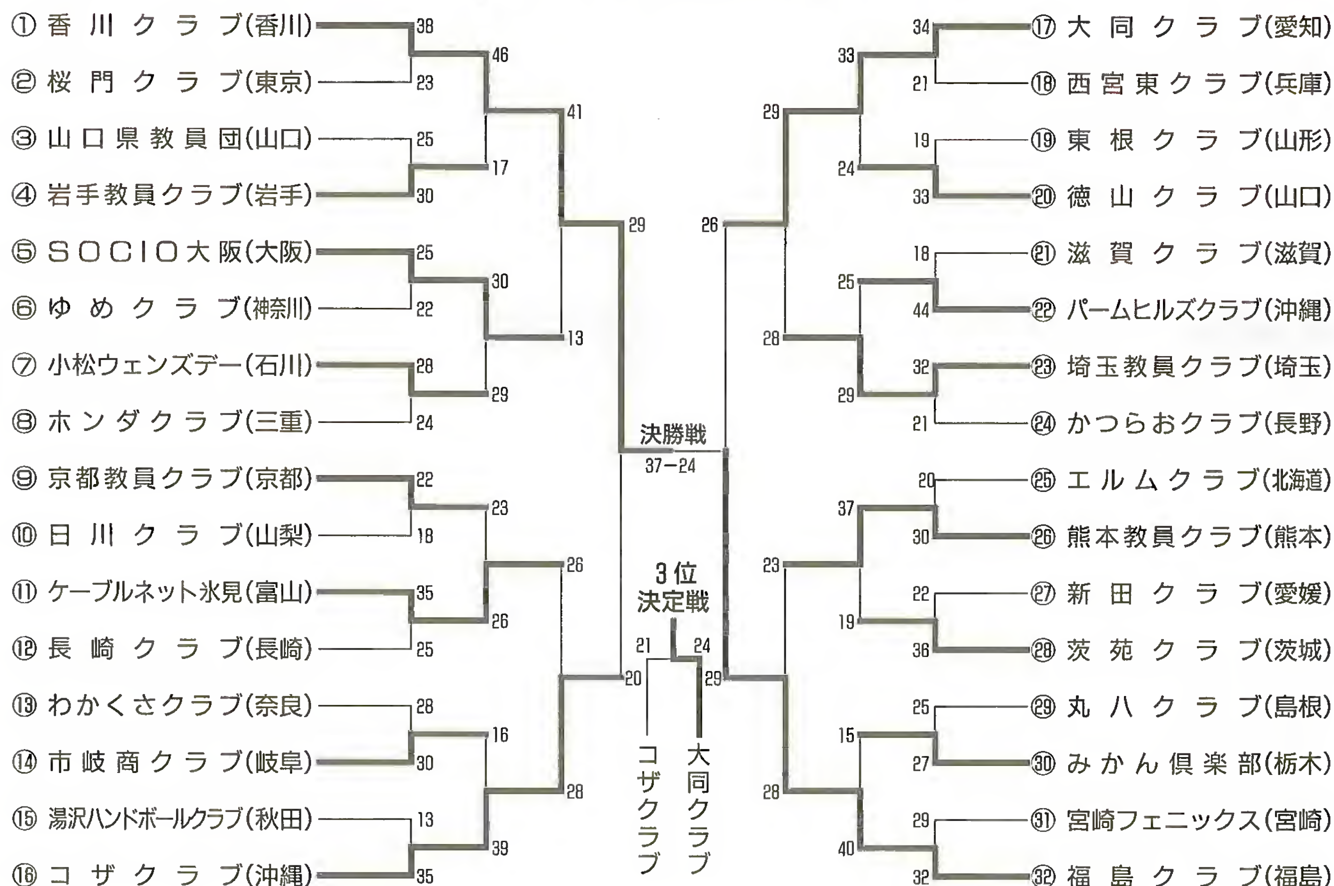
■決勝

SHIGOTONIN 35 (19−7 / 16−10) 17 香川レディース

第3回 ジャパンオープントーナメント

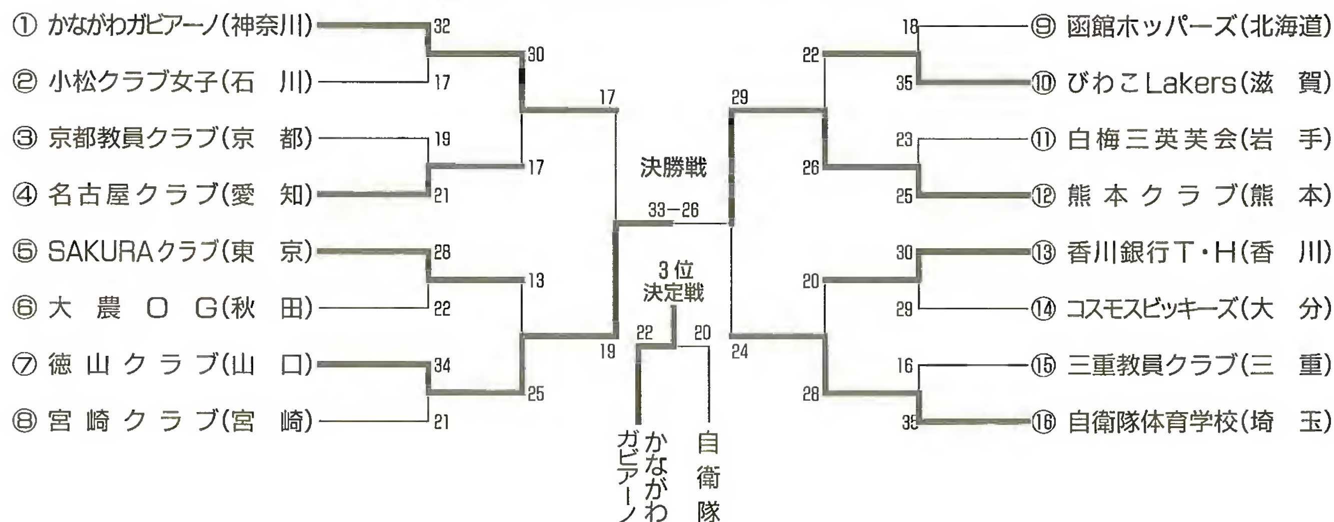
男子の部成績

優　勝　香川クラブ（香川）
準優勝　福島クラブ（福島）
第3位　大同クラブ（愛知）



女子の部成績

優　勝　徳山クラブ（山　口）
準優勝　熊本クラブ（熊　本）
第3位　かながわガビアーノ（神奈川）



第25回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会

豊田高専が9年ぶり2度目の優勝

第25回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会が、8月1、2日に東京駒沢体育館で開催された。参加校は、全国各地の地区予選を勝ち抜いた12校。高専大会の初日は3校ごとの予選リーグを実施し、2日目は、各予選リーグの1位校による決勝トーナメント方式。

予選リーグを勝ち上がったのは、昨年度優勝校で連覇を目指す長岡高専、初優勝の期待のかかる高知高専、速攻に定評のある豊田高専、過去最多優勝を誇る明石高専。準決勝は好試合となり、テクニックに勝る高知高専が長岡高専を後半に逆転し、初の決勝進出。一方、走力に勝る豊田高専は、明石高専の後半の猛攻を振りきり、余裕をもっての決勝進出。

決勝戦はスピードの豊田高専とテクニックの高知高専との対戦。前半は豊田高専が速い攻めで着実に得点を重ねゲームの主導権を握る。後半も豊田高専のスピードは衰えず、終始安定した試合運びで、巧みな個人技で追いすがる高知高専を押え、9年振り2度目の栄冠を飾った。

本大会の優秀選手は、古田昇、阿部正道、佐竹弘章(以上、豊田高専)、中野陽平、廣田憲治(以上、高知高専)、長部真博(長岡高専)、木内隆雅(明石高専)の7名が選出された。

【予選リーグ】

■第1ブロック

豊田高専　30－15　米子高専
豊田高専　28－12　東京高専
米子高専　23－18　東京高専
【順位】①豊田高専②米子高専③東京高専

■第2ブロック

明石高専　27－20　八代高専
八代高専　23－16　津山高専
明石高専　32－22　津山高専
【順位】①明石高専②八代高専③津山高専

■第3ブロック

高知高専　15－13　一関高専
和歌山高専　27－15　一関高専
高知高専　28－10　和歌山高専
【順位】①高知高専②和歌山高専③一関高専

■第4ブロック

長岡高専　18－15　富山高専
鹿児島高専　29－12　富山高専
長岡高専　21－17　鹿児島高専
【順位】①長岡高専②鹿児島高専③富山高専

【準決勝】

高知高専　17（5－9、9－6）15　長岡高専

(戦評)前半、長岡高専がキャプテン長部を中心として得点を重ねる。一方、高知高専も11番大利がチャンスをつくるが、キーパー小式澤のファインセーブで、なかなか得点にできずに9対5と長岡のリードで前半終了。しかし後半、高知は中林監督のゲキに奮起。4番谷田、キャプテン幸崎らの得点により後半10分ころに逆転、その後も得点を重ね、残り1分で5点のリードで、試合が決まったかのように思われた。しかし、そこから長岡が猛チャージ。3点立て続けに取る。が、反撃もここまで。高知高専が17対15の接戦の末、長岡高専をくだし、決勝進出。

豊田高専　24（14－7、10－12）19　明石高専

(戦評)この試合は警告が各チームで2枚、退場者に至っては両チーム0枚という今大会の中でも特筆すべきクリーンなゲームとなったことを強調したい。内容の方は前半、豊田高専の阿部、高野らの活躍によりリズムをつくった。しかし、後半は明石高専の方も木内、藤江らの得点により盛り返したが、健闘むなしく一歩及ばなかった。しかし、後半の追い上げには目を見張るものがあった。また、試合を通じて両チームのGK佐竹、高松の好セーブも目立った。

【決　勝】

豊田高専　24（11－8、13－8）16　高知高専

(戦評)豊田高専は速いパス回しからのポストプレー、1対1からのずらしなど多様なプレーで得点を重ねる。一方、高知高専はキャプテン幸崎、11番大利などの個人技中心の得点が目立った。また、高知はパスミス、オーバーステップ、ブロッキングなどのターンオーバーを連発し、つかみかけた流れを失うというシーンが多かったように思われる。

豊田の3点リードで始まった後半、豊田は思いきりの良いロングシュートで得点を取ることができるのに対し、高知は低いディフェンスに対してもロングシュートにいくことができず、4番谷田の1対1に任せた得点パターンであった。

最終的に24－16と8点の差がついたものの、両チームの実力差はそれほど感じられなかった。8点の違いは両チームの勇気の違いであるように思われる。豊田高専がもっていたロングシュートを打つ勇気が高知高専にもあったのならば、試合は違ったものになったであろう。



↑予選リーグ　明石－八代　明石のシュート



←予選リーグ　豊田－東京　豊田のロングシュート

「アジア制覇が世界への道」

企画・広報委員
早川　文司

サッカーファンでなくても、フランスW杯に関心を示した人は多かっただろう。ワールドスポーツといわれるサッカーの偉大なエネルギーを改めて世界に印象づけたといっても過言ではあるまい。とくに日本が初出場したこともあって、国内が大いに盛り上がったのを目の当たりにして、バドボール界だけでなく、他の競技関係者もうらやましい限りであったことだろう。あれだけ国民を、なかでも若者を熱狂させたノウハウなど学ぶべき点は多かったはずだ。とりわけ、代表の結果がまずは大切であることはいうまでもない。

暮れのアジア大会が迫ってきた、来年の男子世界選手権、そして2000年のシドニーオリンピックとビッグイベントは続く。ここに「日本」がどのように結果を出していくかが、ファンへハンドボールをアピールできる大きなカギを握っていることは明らかである。

蒲生新体制の全日本は5月のヨーロッパ遠征、7月のヒロシマ国際大会をこなし、11月にはジャパンカップでチームを仕上げてタイへ乗り込む。ここで結果を出して世界選手権出場を決め、勢いに乗ってシドニーオリンピックを目指してもらいたい。

幸い予選の日本招致を働きかけることになったのは、有利な条件であることは間違いない。中東などでの開催となれば中立性など大きなハンディキャップを日本は背負わされることになるからだ。最終決定される12月のＡＨＦ（アシア・バンドボール連盟）定期総会へ向けて最大限の働きかけをして、なんとしても日本開催を実現させたいものだ。

なにせ日本ハンドボールはバルセロナ、アトランタと２大会続けて五輪の舞台に立っていない。五輪出場を重視する日本国内の風潮は無視できない。なんとしても今回は出場切符を手に入れなければ、大げさに言えばハンドボールは日本スポーツ界から置いてきぼりを食ってしまうとも限らない。アジアを制し世界の舞台に立つことが今の日本にはどうしても大切なのである。そうした意味からも予選の日本開催は重要な手段である。昨年の熊本で盛り上がったハンドボール熱を継続させるには、オリンピックという世界のスポーツの祭典に参加することが避けては通れない道である。アジア制覇が世界に仲間入りするまたとないチャンスだし、ファンの目をハンドボールに向かせる格好の材料である。

ANA
ANK

全力投球宣言。
全日空のマイレージ

ますます貯めやすい、ますますおトク。

パワーアップ・マイレージ

さらに! 特典がパワーアップ

10,000マイルで
ANAセレクション


15,000マイルから
無料航空券
たとえば15,000マイルで国内約130路線の中からお選びいただけます。

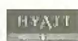
さらに! 貯めやすくパワーアップ

●5月より、ルフトハンザ・ドイツ航空が新たな提携パートナーに。

●国内・海外の提携ホテル数も約930に拡大。
国内では4月から、約180のANAフレンドリーパートナーズと、海外では5月から、5つの海外ホテルチェーンの約750ホテルと提携いたします。















*上記の海外提携ホテルでは、5月1日から7月31日まで積算対象料金でのご宿泊のホテルマイルが2倍カウントされるボーナスマイルを実施いたします(ハイアットは、アジア・太平洋地域の特定ホテルが対象となります)。

さらに! 飛ぶほど、サービスがパワーアップ

●「プラチナサービス」が多彩な特典で4月よりスタート。



◆5,000マイルのウェルカムボーナス
◆ご搭乗マイルを20%アップ(全日空・エアーニッポン便)
◆ご利用に応じた5,000マイル、10,000マイルのボーナス
◆国内線スーパーシート券、国際線アップグレード券、空港ラウンジのご利用など

全日空・エアーニッポン便を積算対象運賃でご利用いただき、1月から12月のプラチナポイント(国内線は1マイルを2ポイント、国際線は1マイルを1ポイントで換算)が50,000ポイントに達した方に、翌年4月から1年間上記のサービスをご提供いたします。

●さらに'99年4月からは「ブロンズサービス」もスタート。
30,000ポイントに達した方に国内線スーパーシート券などの特典をご用意いたします。

さらに! ANAカードも、機能がパワーアップ

●ANAカード会員なら、ますますマイルがアップ!
全日空・エアーニッポン便をご利用いただくたびに、ワイドカードで区間基本マイレージの15%、一般カードで5%をボーナスマイルとしてプラスいたします。

●"カードマイレージサービス・ショッピングアルファ"スタート!
クレジットによる国内の全日空各支店および空港カウンターでの航空券のお求め・機内販売・高島屋・日本石油SSでのお支払いでさらにマイルがアップします(一部の店舗を除きます)。

今なら、大チャンス! パワーアップ・キャンペーン

実施期間:'98年4月1日(水)~7月16日(木)(ご搭乗分)

抽選で 合計30,000名様に国内線・国際線無料航空券などをプレゼント!
◎期間中、機内にご用意した「専用応募ハガキ」にてご応募ください。詳しくは、応募ハガキをご覧ください。

もれなく 全日空・エアーニッポン国内線全路線で3倍マイル!
●マイル積算対象運賃でご利用いただいたお客様に限ります。

国際線で お帰りハイヤーサービス
実施期間:'98年4月1日(水)~9月30日(水)
●全日空欧州線・米国東海岸線をファースト・ビジネスクラスで往復されると成田・関西空港からご希望の場所(130km以内)までハイヤーを無料でご提供いたします。

本キャンペーンに関するお問い合わせは「全日空キャンペーン事務局」
0120-029-397 (ゼンニックウ)
(受付時間9:00~17:30/土・日・祝日を除く)
おかけ間違いのないようお願いいたします。

全日空のご予約お問い合わせは 国内線フリーダイヤル 0120-029-222 (ゼンニックウ) 国際線フリーダイヤル 0120-029-333 (ゼンニックウ) または、お近くの旅行代理店まで。

ANAマイレージクラブ

詳細についてのお問い合わせは ANAマイレージクラブサービスセンター 0120-029-767 (ゼンニックウ) (受付時間 9:30~17:00 土・日・祝日を除く)

いよいよ第23回日本リーグ開幕!!

テレホンサービス 052-953-9651

今大会より、試合結果をより早く全国のファンにお知らせする為、NTTと提携しテレホンサービスを開始します。
☎052-953-9651

23回の最大の話題は本田鈴鹿の新戦力、フランスからリーグに参加する世界のMVPストックランと同僚ヴォルであろう。二人の紹介は機関誌8月号で掲載されており省略するが、世界最高の左腕から繰り出す強烈なロングシュート、これを湧永の高いディフェンス陣がどう防ぐか、ファンは開幕が楽しみであり、必ず試合会場へ足を運ばずにはいられないだろう。男子一部は毎年優勝チームが変わり、中村、大同、湧永に本田を加えた4強は熾烈な熱戦が展開されるだろう。一方、女子の一部はオムロン、北国、日立、イズミの4強に他のチームがどう絡むか、大波乱も予想される。スタートで波に乗り、ケガ人を出さないチームが一気に優勝を狙うことになろう。

昨年の熊本世界選手権効果に続き、今年も本田鈴鹿の世界No.1選手の大補強という朗報を日本協会の全組織をあげて飛躍のチャンスとし、〃今ハンドが面白い〃を確実なものにしなければならない。

第23回(平成10年度)日本ハンドボールリーグ実施要項

【主催】
財団法人日本ハンドボール協会
【主管】
日本ハンドボールリーグ運営委員会 開催地ハンドボール協会
【開催期間】
平成10年10月1日(木)〜
平成11年3月14日(日)
プレーオフ(1部男女)
平成11年3月19日(金)〜21日(日)
プレーオフ(2部男子)
平成11年3月13日(土)〜14日(月)
【会場】 別項の開催会場参照
【参加チーム数、大会方式、試合数】
【出場チーム】
〈1部男子〉
湧永製薬 本田技研 大同特殊鋼
中村荷役 三陽商会 日新製鋼
OSAKI トヨタ車体
〈1部女子〉
オムロン 北國銀行 日立栃木
イズミ OSAKI 大和銀行
立山アルミ シャトレーゼ
〈2部男子〉
(東ブロック)北陸電力 デンソー
三景 トヨタ自動車 日鐵建材
(西ブロック)本田技研熊本 アラコ九州 トクヤマ ケー・エフ・シー 大阪ガス
〈2部女子〉
ジャスコ ブラザー工業 ソニー
国分 ムネカタ

日本リーグ各チーム監督に聞いた(2)「ここを見てくれ」

第23回日本リーグは、10月1日に開幕しますが、前号に引き続き今月は2部リーグ男子10チーム、女子4チームの監督の抱負をご紹介します。

また、前期(10月1日〜1月24日)・後期(1月26日〜3月14日)の日程表の合わせてご紹介いたします。

【男 子】

■北陸電力監督 角谷喜代重

この4月に筆吉選手(北陸高校出身)が入社し、センタープレーヤーとして打って良し、走って良しの選手です。

『個』を活かして勝つ』ということをスローガンにし、選手各自が目標を持ち、従来の守って速攻のチームカラーで今期2部優勝を目標に努力していきます。

■デンソー監督 笠 哲也

今年は、勝ちにこだわる〃主将梅井〃と接戦は俺がモノに〃副主将有村〃が、妥協しない練習を日々行っている。

その練習を必死に耐え忍んでいる新人4名の2、3年後が楽しみである。

今年のキーマンはもちろん〃主将梅井〃。

◎監督の考え

平均身長を上げる事は出来ないが、スピードとパワーはUPさせる事が出来る そこで今年は、昨年のスピードに磨きをかけ、更に体重を増やしパワーをつけ、スピード&パワーで一戦一戦闘い、東地区優勝を狙う。

〃チームの運命は、チームの手中にあり〃

■三景監督 小寺勝矢

今期のチームカラーはディフェンスから速攻を中心に体格がない分、スピードとコンビネーションで挑戦します。

ディフェンスは、今期フルに動けるようになった増井、新人の松本らの運動量に加え、佐藤、三津らの長身選手が壁を作ります。オフェンスはキャプテン山口を中心に、

山形、久野らのコンビと両サイド峰、水落らのスピードを生かしたプレーでディフェンスを崩します。「今年こそは、全員ハンドボールで最後まで集中して勝ち続けます。」

■トヨタ自動車監督　玉津富士夫

ハーモニアス・グロース／調和ある成長（心・技・体　調和あるチームの成長と一部リーグ復帰）

前回リーグは好スタートを切れたが途中、主力のケガにより後退、また、消極的ミスも多かった。今年度はケガをしない体づくりからスタート、ミスを恐れない積極的プレーの自己改革。新キャプテンの中山のリード、成長著しい坂口のカットイン、パワフルさが加わった厚沢のミドル、そして、男らしさが増したトヨタセブン選手全員。今年は新戦力もなく、チームとしては昨年と同じであるが各人が成長しておりチーム力は向上している。全員トヨタのプライドを胸に全力投球で戦いたい！

■日鐵建材工業監督　川上直樹

念願の日本のリーグに7年ぶりに復帰する事が出来ました。

7年前とは全く違う新しいメンバーでのリーグ挑戦となります。

身長は低いが運動量でカバーし、攻撃的なディフェンスからの速攻を中心に全試合スピード感あふれるプレーをしていきたいと思います。

何卒リーグ初挑戦のメンバーなので、一試合一試合チャレンジャー精神で戦って行きたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

■本田技研熊本監督　佐々木信男

昨年は、OF・DF共、波のあるゲームが多かった。

今年は、守って速攻を基本にOFで30点以上、DFで20点以下を目標に2部優勝＝1部復帰を果たしたい。

OFのキーマンは、佐伯・田中の両フローターの確実性がポイントとなるが、それをサポートするセンター西村、ポスト宮城（新人）、サイド川勝・松本・高木（中村から移籍）らの活躍がないと苦戦しかねない。DFでは、GK藤田・松岡（新人・全日本Jr）を中心に今年は相手に依り、色々なDF体系をためして行きたい。それには、佐伯・宮城・米満・成長著しいチーム最長身の蓑田ら中央4人のまとまりと60分間のスタミナが、ゲームを左右する最大のポイントとなると思う。とにかく、今年の新しいメンバー（高木・宮城・松岡）はチームにいい刺激を与えており、またポジション争いも激化しており、練習でやった事を忠実に出せればそれなりの結果はついて来ると思う。

■アラコ九州監督　元島邦彦

新戦力として、パワフルヒッターの長澤、速攻のスペシャリスト村上、オールラウンドプレイヤーの新富祖を迎えた。攻撃はエース田中を中心にコートを広く使う意識を徹底して展開、守備面では久保を軸とした5－1DFを主体に組織力の強化に取り組んでいる。3年目となる今期はゲームの流れを適確に掴み考えながら戦う集団へと成長していきたい。

■トクヤマ監督　前田裕之

今年は、待望の即戦力、左腕の岡本が加入したことでセットプレーに厚みができた。また、同じく新戦力の中村朗を中心にポイントゲッター勝本、ポスト佐藤を攻守ともにリードしゲームを組み立てる保科の存在が大きなカギとなる。更に、サイドはポジション争いが激化し、清水、広中と坂根、末永の得点力も勝敗に大きく左右されるものと考えている。

「組織の結束・個人の表現・貪欲な精神」をスローガンに勝ちに拘るプレーを実践したい。

■ケー・エフ・シー総監督　近藤善重

昨年は2部リーグ最下位という屈辱を味わいました。これを打ち破るには〝練習とチームワーク以外になし！〟という決意でメンバーを一新し、豊富な練習につちかわれた良きチームワークで第23回のリーグ戦にのぞみます。

チームワークを重んじる成長した2年目の《ケー・エフ・シー》に是非期待して下さい。

■大阪ガス監督　長田健嗣

左腕エース三羽の対角に、打てるフローター八幡が加入、ポスト鵜島と共に弱点のセットオフェンスでも得点を期待できるようになった。元来守って速攻のチームカラーに、キーパー嶋崎も加わり安定感も増してきた。後はブランクによる「体力ダウン」を早く取り戻し上位進出を狙いたい。

【女　子】

■ジャスコ監督　池本　聡（C級コーチ）

昨年度、1試合失点24点を目標にしてきたが、年間平均で1、5点及ばず接戦を落とす事が多かったので、今年は〝挑戦者〟の立場を前面に出して一人一人が、勝利のために戦う姿勢を課題として取り組む。またリーグの試合経験がない選手が半数以上に上るため、池田、浦田姉妹、松永らの中堅選手の踏張りが試合のカギを握っていると考える。

■ブラザー工業監督　田中俊行（C級コーチ）

障害のため戦線を離脱しがちであった、裕、長谷川、キーパー太田が完全復帰を果たし、攻守の要としてフルタイムの活躍を期待している。反応の速いトランジションをテーマにした昨シーズンはモデルチェンジを果たせず、結果的に得点力不足を招き、納得のいかない終わり方をした。日々検証と修正。笑ってシーズンを終えたい。

■ソニー国分監督　池ノ上孝司（C級コーチ）

「集中力の持続」をスローガンとして、基本を守り、安定したプレーを目指すという監督の意志を柱とし、新主将のGK・崎山を中心に、攻守ともに確実な前進を遂げている。新戦力としては、ロングシューター高木・水田、DFで期待される野津・橋本・平川、さらに中京女大コンビの麻生・堀尾が加入した。

■ムネカタ監督　田口侑義

今年は4人の新人が入部し、戦力も若返り、日本リーグ初経験者も多く、戸惑いはあると思いますが、若さを武器に何事も恐がらず「元気、勇気、挑戦」をテーマに個々人の積極性をアピールし、今リーグに臨みたい。

攻守ともにキャプテン佐藤ゆかりを中心に小粒なチームではあるが、特に3年目の両サイド黒田亜希子、渡辺れいの奮起に期待する。

いずれにしても苦しい今リーグになると思われますが、若さを最大限に発揮し、一戦一戦を大事に戦って行きたい。

第23回日本リーグ日程表

前期

週	月・日(曜)	開催地	会場	1部男子	1部女子	2部男子	2部女子
1	10月1日(木)	秋田	湯沢市総合体育館		18:00～ シャトレーゼ×大和銀行		
	10月3日(土)	広島	東区スポーツセンター	14:00～ 日新製鋼×中村荷役 15:30～ 湧永製薬×大同特殊鋼	12:30～ イズミ×オムロン		
		富山	三協アルミスポーツセンター"サンアリーナ"		13:00～ 北国銀行×OSAKI 14:40～ 立山アルミ×日立栃木		
		大阪	ドームシティスポーツセンター			14:30～ 大阪ガス×KFC	
		熊本	鹿央町公民館			16:00～ 本田技研熊本×トクヤマ	
		鹿児島	国分市総合体育館				15:00～ ソニー国分×ブラザー工業
	10月4日(日)	東京	東京体育館	15:30～ 三陽商会×本田技研		14:00～ 三景×トヨタ自動車	
		愛知	知立市福祉体育館	14:00～ トヨタ車体×OSAKI			
		福島	本宮町総合体育館			13:00～ デンソー×アラコ九州	15:00～ ムネカタ×ジャスコ
		福井	北陸電力福井体育館フレア			14:00～ 北陸電力×日鉄建材工業	
2	10月8日(木)	山口	徳山市総合スポーツセンター			18:30～ トクヤマ×大阪ガス	
	10月9日(金)	大阪	守口市民体育館			17:30～ 日鉄建材工業×KFC	
	10月10日(土)	埼玉	志木市民体育館	15:00～ OSAKI×三陽商会	19:00～ 大和銀行×OSAKI		
	10月11日(日)	山梨	小瀬スポーツ公園メインアリーナ	16:00～ 中村荷役×トヨタ車体	18:00～ シャトレーゼ×イズミ		
		愛知	東海市民体育館	14:40～ 大同特殊鋼×日新製鋼			13:00～ ブラザー工業×ムネタカ
		三重	鈴鹿市体育館	14:50～ 本田技研×湧永製薬			13:00～ ジャスコ×ソニー国分
		熊本	熊本県立天草工業高校体育館		14:30～ オムロン×立山アルミ	13:00～ 本田技研熊本×アラコ九州	
		青森	青森県総合運動公園体育館		14:00～ 日立栃木×北国銀行	11:00～ トヨタ自動車×北陸電力 12:30～ デンソー×三景	
3	10月14日(水)	愛知	知立市福祉体育館	18:30～ トヨタ車体×大同特殊鋼			
		広島	湧永満之記念体育館	18:00～ 湧永製薬×三陽商会			
		広島	日新製鋼呉体育館	18:30～ 日新製鋼×本田技研		16:40～ 三景×本田技研熊本	
		東京	駒沢体育館		17:30～ 立山アルミ×シャトレーゼ 19:00～ OSAKI×日立栃木		
		福井	北陸電力福井体育館フレア		16:30～ 北国銀行×オムロン	18:30～ 北陸電力×デンソー	
		大阪	守口市民体育館			16:00～ 大阪ガス×アラコ九州 17:30～ 日鉄建材工業×トヨタ自動車 19:00～ KFC×トクヤマ	
	10月15日(木)	東京	駒沢体育館	16:30～ 中村荷役×OSAKI			
	10月17日(土)	広島	東区スポーツセンター		19:00～ イズミ×大和銀行		
		熊本	松橋町体育文化センター		16:30～ オムロン×シャトレーゼ	15:00～ 本田技研熊本×大阪ガス	
		佐賀	佐賀県総合体育館			15:00～ アラコ九州×KFC	
	10月18日(日)	岩手	岩手県営体育館	15:40～ OSAKI×日新製鋼	14:00～ OSAKI×立山アルミ		
		東京	東京体育館	14:30～ 三陽商会×トヨタ車体 16:00～ 中村荷役×湧永製薬		13:00～ 三景×北陸電力	
		愛知	天白スポーツセンター	15:00～ 大同特殊鋼×本田技研		11:00～ デンソー×日鉄建材工業	13:00～ ブラザー工業×ジャスコ
		宮城	大和町総合体育館		14:20～ 日立栃木×イズミ		12:30～ ムネカタ×ソニー国分
		大阪	堺市家原大池体育館		15:30～ 大和銀行×北国銀行	13:00～ トヨタ自動車×トクヤマ	
4	1月9日(土)	茨城	水海道市民体育館	15:00～ OSAKI×本田技研	13:00～ シャトレーゼ×日立栃木		
		愛知	知立市福祉体育館	14:30～ トヨタ車体×湧永製薬		13:00～ トヨタ自動車×デンソー	
		熊本	山鹿市総合体育館		15:00～ オムロン×大和銀行		
		大阪	八尾市立総合体育館			14:00～ KFC×本田技研熊本 15:30～ 日鉄建材工業×三景	
		山口	徳山市総合スポーツセンター			13:00～ トクヤマ×アラコ九州	

週	月・日(曜)	開催地	会場	1部男子	1部女子	2部男子	2部女子
4	1月9日(土)	三重	四日市市中央緑地体育館				13:00～ジャスコ×ムネカタ
	1月10日(日)	東京	東京体育館	14:30～中村荷役×大同特殊鋼 16:00～三陽商会×日新製鋼			
		富山	富山県総合体育センター		14:00～立山アルミ×北国銀行		
		広島	東区スポーツセンター		14:00～イズミ×OSAKI	12:00～北陸電力×大阪ガス	
		愛知	半田市体育館				13:30～ブラザー工業×ソニー国分
5	1月15日(金)	広島	湧永満之記念体育館	13:00～日新製鋼×トヨタ車体 14:40～湧永製薬×OSAKI			
		埼玉	草加市健康都市記念体育館		14:30～OSAKI×シャトレーゼ		
	1月16日(土)	三重	四日市市中央緑地体育館	14:50～本田技研×中村荷役			13:00～ジャスコ×ブラザー工業
		山形	東根市民体育館			11:30～北陸電力×KFC 13:00～トヨタ自動車×アラコ九州 14:30～三景×大阪ガス 16:00～デンソー×本田技研熊本 17:30～日鉄建材工業×トクヤマ	
	1月17日(日)	愛知	天白スポーツセンター	13:00～大同特殊鋼×三陽商会			
		栃木	栃木県立県南体育館		14:30～日立栃木×オムロン		
		石川	小松市総合体育館		14:00～北国銀行×イズミ		
		兵庫	尼崎市記念公園総合体育館		14:00～大和銀行×立山アルミ		
		山形	東根市民体育館			11:30～トヨタ自動車×本田技研熊本 13:00～日鉄建材工業×アラコ九州 14:30～三景×KFC 16:00～北陸電力×トクヤマ 17:30～デンソー×大阪ガス	
		鹿児島	ソニー国分体育館				11:00～ソニー国分×ムネカタ
6	1月23日(土)	三重	名張市総合体育館	13:00～本田技研×トヨタ車体			
		京都	京都市体育館	16:00～大同特殊鋼×OSAKI	14:30～オムロン×OSAKI		
		広島	安佐北区スポーツセンター	15:00～湧永製薬×日新製鋼		13:20～デンソー×KFC	
		山梨	塩山市民体育館		18:00～シャトレーゼ×北国銀行	16:00～トヨタ自動車×大阪ガス	
		大阪	大阪府立臨海スポーツセンター		15:20～大和銀行×日立栃木	13:00～三景×トクヤマ	
	1月24日(日)	千葉	船橋アリーナ	14:30～三陽商会×中村荷役			
		富山	三協アルミスポーツセンター"ザンアリーナ"		15:00～立山アルミ×イズミ	13:20～日鉄建材工業×本田技研熊本	
		高知	県立高知県民体育館			14:40～北陸電力×アラコ九州	13:00～ソニー国分×ジャスコ
		福島	本宮町総合体育館				14:00～ムネカタ×ブラザー工業

後期

週	月・日(曜)	開催地	会場	1部男子	1部女子	2部男子	2部女子
1	1月26日(火)	山梨	小瀬スポーツ公園メインアリーナ		18:00～シャトレーゼ×立山アルミ		
	1月27日(水)	栃木	栃木県立県南体育館	17:30～OSAKI×中村荷役	19:00～日立栃木×OSAKI		
		東京	東京体育館	18:40～三陽商会×湧永製薬			
		愛知	天白スポーツセンター	18:30～大同特殊鋼×トヨタ車体			
		三重	本田技研健保体育館	18:00～本田技研×日新製鋼			
		大阪	守口市民体育館		19:00～大和銀行×イズミ		
		熊本	鹿本町民体育館		19:00～オムロン×北国銀行		
	1月30日(土)	広島	東区スポーツセンター		15:00～イズミ×シャトレーゼ		
		大阪	ドームシティスポーツセンター			13:00～大阪ガス×トクヤマ 14:30～日鉄建材工業×デンソー	
		佐賀	佐賀県総合体育館			15:00～アラコ九州×本田技研熊本	
	1月31日(日)	福島	本宮町総合体育館	15:00～トヨタ車体×中村荷役			13:00～ムネカタ×ジャスコ
		神奈川	横浜文化体育館	15:30～三陽商会×OSAKI	14:00～OSAKI×大和銀行		
		愛媛	愛媛県総合運動公園体育館	15:00～日新製鋼×大同特殊鋼		13:00～トヨタ自動車×KFC	
		沖縄	浦添市民体育館	15:00～湧永製薬×本田技研			

週	月・日(曜)	開催地	会場	1部男子	1部女子	2部男子	2部女子
1	1月31日(日)	石川	金沢市総合体育館		13:00～ 立山アルミ×オムロン 15:00～ 北陸銀行×日立栃木		
		福井	北陸電力福井体育館フレア			14:00～ 北陸電力×三景	
		鹿児島	名瀬市総合体育館				15:00～ ソニー国分×ブラザー工業
2	2月3日(水)	山口	徳山総合スポーツセンター			18:30～ トクヤマ×KFC	
	2月6日(土)	神奈川	川崎市とどろきアリーナ	16:00～ 中村荷役×日新製鋼		14:30～ 三景×日鉄建材工業	
		埼玉	川越運動公園総合体育館	15:40～ OSAKI×トヨタ車体	14:00～ OSAKI×北国銀行		
		熊本	熊本県立総合体育館	16:30～ 本田技研×三陽商会	15:00～ オムロン×イズミ		
		三重	四日市市中央緑地体育館				14:00～ ジャスコ×ソニー国分
		福岡	久留米総合スポーツセンター県立体育館	14:00～ 大同特殊鋼×湧永製薬		12:00～ アラコ九州×大阪ガス	
	2月7日(日)	栃木	栃木県市総合体育館		14:30～ 日立栃木×立山アルミ	13:00～ 北陸電力×本田技研熊本	
		大阪	堺市家原大池体育館		14:30～ 大和銀行×シャトレーゼ		
		愛知	岡崎市体育館			14:00～ デンソー×トヨタ自動車	12:30～ ブラザー工業×ムネカタ
3	2月18日(木)	広島	東区スポーツセンター		19:00～ イズミ×日立栃木		
	2月20日(土)	愛知	三好公園総合体育館	15:00～ トヨタ車体×三陽商会		11:30～ トヨタ自動車×三景	13:30～ ブラザー工業×ジャスコ
		三重	鈴鹿市体育館	14:00～ 本田技研×大同特殊鋼			
		山梨	鐘山スポーツセンター体育館		18:00～ シャトレーゼ×オムロン	16:00～ デンソー×トクヤマ	
		大阪	大阪府立臨海スポーツセンター			12:00～ 日鉄建材工業×北陸電力 13:30～ 大阪ガス×本田技研熊本 15:00～ KFC×アラコ九州	
		広島	東区スポーツセンター	13:00～ 日新製鋼×OSAKI 14:40～ 湧永製薬×中村荷役			
	2月21日(日)	石川	小松市総合体育館		13:00～ 立山アルミ×OSAKI 14:30～ 北国銀行×大和銀行		
		福島	本宮町総合体育館				14:00～ ムネカタ×ソニー国分
	2月26日(金)	東京	東京体育館	19:20～ 三陽商会×大同特殊鋼		17:50～ 三景×デンソー	
4	2月27日(土)	東京	東京体育館	15:00～ 中村荷役×本田技研	13:30～ 日立栃木×シャトレーゼ		
		埼玉	浦和市市民体育館	15:40～ OSAKI×湧永製薬	14:00～ OSAKI×イズミ		
		奈良	生駒市市民体育館		14:00～ 大和銀行×オムロン	12:00～ 日鉄建材工業×大阪ガス	
		佐賀	佐賀県総合体育館			15:00～ アラコ九州×トクヤマ	
	2月28日(日)	愛知	刈谷市体育館	13:30～ トヨタ車体×日新製鋼			12:00～ ブラザー工業×ソニー国分
		石川	金沢市総合体育館		14:00～ 北国銀行×立山アルミ		
		福井	北陸電力福井体育館フレア			14:30～ 北陸電力×トヨタ自動車	13:00～ ジャスコ×ムネカタ
		熊本	水俣市立総合体育館			11:00～ 本田技研熊本×KFC	
5	3月4日(木)	山口	徳山市総合スポーツセンター			18:30～ トクヤマ×本田技研熊本	
	3月6日(土)	愛知	東海市民体育館	15:00～ 大同特殊鋼×中村荷役			
		三重	鈴鹿市体育館	15:50～ 本田技研×OSAKI			14:00～ ジャスコ×ブラザー工業
		広島	広島県立三次公園カルチャーセンター	14:40～ 湧永製薬×トヨタ車体			13:00～ ソニー国分×ムネカタ
		山梨	小瀬スポーツ公園メインアリーナ		18:00～ シャトレーゼ×OSAKI		
		大阪	大阪府立臨海スポーツセンター			14:30～ KFC×大阪ガス	
	3月7日(日)	鳥取	境港市体育館	14:00～ 日新製鋼×三陽商会	15:30～ オムロン×日立栃木	12:30～ 三景×アラコ九州	
		富山	氷見市総合体育館		14:00～ 立山アルミ×大和銀行		
		広島	東区スポーツセンター		14:00～ イズミ×北国銀行		
		愛知	岡崎市体育館			12:30～ トヨタ自動車×日鉄建材工業 14:00～ デンソー×北陸電力	
6	3月13日(土)	神奈川	川崎市とどろきアリーナ	15:00～ 中村荷役×三陽商会			
		埼玉	浦和市民体育館	15:40～ OSAKI×大同特殊鋼	14:00～ OSAKI×オムロン		
		広島	東区スポーツセンター	14:00～ 日新製鋼×湧永製薬	12:30～ イズミ×立山アルミ		
	3月14日(日)	愛知	知立市福祉体育館	14:00～ トヨタ車体×本田技研			
		栃木	栃木市総合体育館		14:30～ 日立栃木×大和銀行		
		岐阜	大垣市総合体育館		13:30～ 北国銀行×シャトレーゼ		
		鹿児島	鹿児島アリーナ				13:00～ ソニー国分×ジャスコ
		福島	本宮町総合体育館				14:00～ ムネカタ×ブラザー工業

IHFニュース

第27回IHF通常総会コートジボワールのヤムスクロは準備万端

コートジボワールの首都ヤムスクロでは、9月に開催される第27回IHF通常総会の準備が整えられた。IHFのRaymond Hahn（レイモンド・ハーン）専務理事とRudi Glock（ルディ・グロック）会計担当は、アフリカを訪れた際、直にその状況を確認することができた。

アフリカ連盟のYapo Achy（ヤポ・アーチー）会長とともに、この二人のＩＨＦ代表者は、総会のホテルPresident（プレジデント・ホテル）とFoundation Houphouet = Boigny（ウーヒュエ・ボワニュイ記念館）を詳細に視察した。この超現代的なコングレスセンターは、1990年にUNESCOが建設し、同共和国の初代大統領の名がつけられたもので、9月17日から19日までの間、各代表団の会議場となる。評議会会議に引き続いて、各委員会と各大陸の会合もこの会場で行われる。

ヤムスクロ会議の議事項目に選挙は含まれていないが、総会参加者によって討議される広範囲のプログラムが予定されている。規約の重要部分の改訂、並びに2001年男子、女子、男子ジュニア、女子ジュニアの各世界選手権の開催地決定が、20項目の会議事項に含まれている。さらに、2000年オリンピック大会の競技担当責任者のBob Elphinston（ボブ・エルフィンストン）氏が、シドニーで行われるハンドボール競技の準備状況について報告する予定。その他IHFパートナーのアディダス、カナルプラス、タラフレックス各社の発表が決定している。

多忙なスケジュールではあるが、この4日間のイベント期間中にコートジボワールの名所を観光する時間もあるはずである。そこでIHFと開催協会は、この国の文化を理解するためにアニマルパークや典型的な村々への訪問を提案している。絶対に見逃してはならないのが、「ノートルダム・ドゥ・ラ・ペ大聖堂（平和の聖母マリア大聖堂）」である。この壮麗な大聖堂は、ローマの聖ペテロ大聖堂を正確に模したものであり、イタリアのオリジナルの聖堂と違うのは、50メートル高いということだけである。

チェリーカップ
第6回東日本小学生ハンドボール大会
男女とも上庄スポーツ少年団（富山県）が優勝

チェリーカップ第６回東日本小学生ハンドボール大会は７月24日から26日までの３日間、山形県東根市で男子８チーム、女子６チームが参加して開催された。

男子は上庄スポーツ少年団と宮田スポーツ少年団ハンドボール部という富山県のチーム同士の決勝となり、女子は上庄スポーツ少年団と地元山形県の玉野スポーツ少年団の決勝戦となったが、男女ともに上庄スポーツ少年団が優勝を飾った。

試合結果は下記の通り。

【男子の部】

①宮田スポ少ハンド部（富山県）
②リトル・ハンド（岩手県）
③湯沢市ハンドスポ少（秋田県）
④尾花沢ハンドスポ少（山形県）
⑤上庄スポ少（富山県）
⑥荻小スポ少（山形県）
⑦本宮ハンドスポ少（福島県）
⑧東根ハンドスポ少（山形県）

A ① 20 (10-6, 10-4) 10 ②
B ③ 16 (8-2, 8-1) 3 ④
C ⑤ 32 (15-1, 17-2) 3 ⑥
D ⑦ 2 (0-6, 2-6) 12 ⑧
G 19 (5-6, 14-2) 8
H 15 (9-0, 6-0) 0
K 8 (4-9, 4-7) 16

3・4位決定戦

Gの敗者　湯沢市ハンドスポ少
Aの敗者　リトル・ハンド
Bの敗者　尾花沢ハンドスポ少
Cの敗者　荻小スポ少
Dの敗者　本宮ハンドスポ少
Hの敗者　東根ハンドスポ少

E 27 (9-4, 18-4) 8
I 11 (4-4, 7-3) 7
F 4 (3-8, 1-7) 15
J 6 (3-9, 3-9) 18
L 22 (11-4, 11-6) 10

【女子の部】

◆予選リーグ

Aブロック

チーム名	上庄スポーツ少年団	荻小スポーツ少年団	玉野スポーツ少年団	勝敗	得失点
上庄スポーツ少年団（富山県）	＼	○ 23 (12-3, 11-1) 4	○ 20 (12-2, 8-1) 3	2-0	+36 ①
荻小スポーツ少年団（山形県）	× 4 (3-12, 1-11) 23	＼	× 1 (1-11, 0-9) 20	0-2	−38 ③
玉野スポーツ少年団（山形県）	× 3 (2-12, 1-8) 20	○ 20 (11-1, 9-0) 1	＼	1-1	+2 ②

Bブロック

チーム名	東根ハンドボールスポーツ少年団	玉野小学校	尾花沢ハンドボールスポーツ少年団	勝敗	得失点
東根ハンドボールスポーツ少年団（山形県）	＼	× 6 (3-5, 3-3) 8	○ 9 (7-3, 2-5) 8	1-1	−1 ②
玉野小学校（山形県）	○ 8 (5-3, 3-3) 6	＼	× 2 (1-8, 1-11) 19	1-1	−15 ③
尾花沢ハンドボールスポーツ少年団（山形県）	× 8 (3-7, 5-2) 9	○ 19 (8-1, 11-1) 2	＼	1-1	+16 ①

◆決勝トーナメント

Aブロック１位　上庄スポ少
Bブロック２位　東根ハンドスポ少
Aブロック２位　玉野スポ少
Bブロック１位　尾花沢ハンドスポ少

g 25 (13-2, 12-0) 2
h 12 (8-5, 4-4) 9
i 16 (8-3, 8-4) 7

３位決定戦

gの敗者　東根ハンドスポ少
hの敗者　尾花沢ハンドスポ少

8 (5-7, 3-4) 11

【男子の部】
優　勝　上庄スポーツ少年団（富山県氷見市）
準優勝　宮田スポーツ少年団ハンドボール部（富山県氷見市）
第３位　湯沢市ハンドボールスポーツ少年団（秋田県湯沢市）
第４位　東根ハンドボールスポーツ少年団（山形県東根市）

【女子の部】
優　勝　上庄スポーツ少年団（富山県氷見市）
準優勝　玉野スポーツ少年団（山形県尾花沢市）
第３位　尾花沢ハンドボールスポーツ少年団（山形県尾花沢市）
第４位　東根ハンドボールスポーツ少年団（山形県東根市）

第2回全国ビーチハンドボールさざなみ大会を終えて

ビーチハンドボール運営委員会委員長　稲生　茂

本大会はハンドボールの楽しさを求めるものとして、ハンドボールの原点、スポーツの本質を求めて取り組み始めました。

話によりますと、ヨーロッパでは1992年に始められ、今では60カ国で楽しまれ、トップチームはほとんどがナショナル選手という状況のようです。

千葉県では今回で計4回のビーチハンドボールの運営を終えたわけですが、このスポーツの魅力にますますとりつかれて行きます。今までの日本のハンドボール界は、ハンドボール競技を通して人間教育に重きを置いて実施してきましたが、そのことにより発展し、目的を達成してきたと思います。

しかし、ここでもう一度スポーツの本質を考え、スポーツは勝つことのみが目的ではなく、ヨーロッパのように生涯を通して楽しむスポーツの取り組みをしていくべきだと考えます。

過去、20数年前に日本と韓国は実力的に逆転してから、韓国に追いつけ、追い越せと、全てにおいて学ぼうとしてきました。

今もその傾向はありますが、スポーツの本来の楽しみかたは自分の健康、人間性に潤いのある生活、精神的な満足、仲間づくり、豊かな人生等数々あります。もうあの頃の苦労はしたくない、二度とハンドボールはしたくない、という経験を持つ若者は多いと思います。

それでは、ハンドボールのスポーツ感としては、本来のスポーツの目的は達成していないと考え、ハンドボールの楽しさをビーチハンドに求めました。ビーチハンドは生涯を通して、年齢によって、また、男女いっしょに楽しめるスポーツとして、今後も普及、発展し、親しんでいけるスポーツとしての豊かさがあると、経験をしたハンドボーラーとして確信いたします。



では、大会の報告になりますが、場所は千葉県の南国、富浦町の原岡海岸です。砂浜は50m位しかありませんが、海の家の前にビーチハンドボールコートが三面、昨年よりはなぜかザワザワしています。なんと今年は男女で45チームの参加で海岸がいっぱいなんです。

8月1日午前9時に開会宣言、荒川名誉顧問による挨拶に続いて、遠藤富浦町長により、ここ富浦町をビーチハンドボール発祥の地、と宣誓が行なわれ、盛大に大会がスタートしました。今回の参加者は日本リーグの選手あり、大学の仲間、高校のOB・OGの集まり、おじさん仲間に幼稚園の先生方、初心者集団と、年齢的に幅のある方々が集まってくれました。



競技レベルも年々進歩していますが、実力以上に点数は接近し、波乱があり、まさかの試合が多かったという事が印象にあります。要するに番狂わせが多いと言うことです。

今後の課題といたしましては、

1：競技ルールの確立と徹底。日本ビーチハンドボール・ルールを確立する。
2：大会運営上、一般の海水浴客をいかにしてゲームに引き込み、放送等を使って盛り上げるか。
3：参加選手のユニフォーム、装身具、爪等の安全問題。
4：競技場が簡単で安価でできる工夫。
5：参加しやすい種別の増加、児童の部、壮年の部、男女の部、ファミリーの部、チャンピオンの部を検討する。
6：将来的に運営の目的も含めた富浦町でのスポーツクラブの形成。

以上報告いたします。

第2回全国ビーチハンドボールフェスティバルさざなみ大会結果

期　日：平成10年8月1日(土)・2日(日)
会　場：千葉県安房郡富浦町原岡海岸

◎男子の部
- 優　勝　BEACH－BOYS'98 A（東京）…初優勝
- 準優勝　BEACH－BOYS'98 B（東京）
- 第3位　FST（東京）

◎女子の部
- 優　勝　麻生フェニックス（茨城）…初優勝
- 準優勝　美少女100%（東京）
- 第3位　千葉クラブ（千葉）

平成10年度ザムスト コーチ・レフェリーシンポジウム報告

期日：平成10年7月26日～28日
場所：広島市東区スポーツセンターほか

　韓国女子ハンドボールチームをバルセロナオリンピックなどで世界の頂点に導いた鄭亨均前監督を講師に迎え、ザムスト コーチ・レフェリーシンポジウムが開催されました。参加者も各地より日本リーグの監督から指導者をめざしている学生までの、さまざまな層の指導者、レフェリーが集い、鄭亨均監督の講義、レフェリー講習、スポーツ医学に関する講習に熱心に受講し、非常に内容の濃い講習会となりました。

　鄭亨均監督の講義では、指導者の立場、要求される能力、など指導者像に関する講義から、イズミの選手の協力によって実際のトレーニング実習まで、一貫した鄭亨均監督のハンドボール理論が講義されました。また、レフェリー講習会ではヒロシマ国際ハンドボール大会を実際に観戦し、そのゲームの中で生じた実際の事象に関して白熱した議論が展開されました。

　今回、実際に世界の頂点に立った指導者を招き講習会が開催されたことは非常に有意義であり、価値のあることであると思います。

　このように、優秀な指導者を招いて講習会を開催することは、日本の指導者の資質を向上させる上で非常に有効であると思います。今後このような講習会が活発に行われ、より多くの指導者が参加し、指導者としての資質の向上を図っていくことが重要であると感じました。

　最後に本講習会を成功させるためにご尽力下さった関係各位のご協力に感謝する次第です。

平成10年度ザムストコーチ・レフェリーシンポジウム内容報告

　今回のシンポジウム内容を日程に従って報告します。

■7月26日

◎講習：鄭亨均
「鄭亨均監督のハンドボール観、コーチ観に関する概論」
　ハンドボールにおける指導者の役割に関して講義され、指導者はチームをコントロールし、分析することによって自己のチームにあったトレーニングプログラムを作成することが重要であると講義された。また、ハンドボールにおける体力の必要性について話され、総合的な体力のトレーニングによってスピードをつけることが重要であると話された。

◎ヒロシマ国際ハンドボール大会観戦
中華人民共和国－日　本（U－23）
アイスランド－日　本

◎レフェリー講習：斉藤実審判長
「ヒロシマ国際で生じた事例に関する討議」
　ヒロシマ国際の中国－日本（U－23）で起こった暴力行為に対する対処に関することを中心に、シュートの顔面直撃に関するルールの適応について議論を行いました。

■7月27日

◎講習（実技）：鄭亨均
「ディフェンス理論と練習法」
　イズミ女子ハンドボールチームの選手をデモンストレーターとしてお願いし、鄭監督のディフェンスに関して、状況別に分類された理論と練習法の講習が行われました。

◎講習（実技）：鄭亨均
「フェイントの理論と練習法」
　受講者も実際に参加して1ステップフェイント、2ステップフェイントなど6種類に分類した練習法に関する実技講習が行われた。

◎レフェリー講習：斉藤実審判長
「ヒロシマ国際で生じた事例に関する討議」
　前日同様、暴力行為に対する対処に関することを中心に、シュートの顔面直撃に関するルールの適用について議論を行いました。

■7月28日

◎講習（実技）：鄭亨均
「ポスト（ピボット）プレーの理論と練習法」
　現在の世界におけるポスト（ピボット）プレーをブロックプレーを中心に講習が行われた。

◎講習：有賀洋志氏
「ハンドボールの外傷とその予防について」
　ハンドボールの競技特性からとらえた傷害とその予防についての概論。

◎講習（実技）：鄭亨均
「速攻の理論と練習法」



速攻に必要な判断力と常にパスアンドランを意識するためのタッチゲームを中心に講習が行われた。

❈ ❈ ❈

第4回 ヒロシマ国際大会を観戦して

審判部　斉藤　実

■7月26日　18:00～19:30

中国×全日本U23（仲田稔・植村彰）で出現したプレーを題材とした。

中国はラフプレーが多く、前日のアイスランドとの試合でもラフプレーの連続で、最後は乱闘寸前の状態になった。このゲームで、前半日本の左サイドからのシュートで近目を狙ったのが、キーパーの顔面に当たった。帰りにシューターが謝りに行き、レフェリーは特にペナルティーを与えなかったけれどもこの場は特に問題はなかった。後半日本の右サイドが近目の上にシュート。これが防御に来たキーパーの顔面に当たった。怒ったキーパーは、シューターを追い掛け殴った。レフェリーが止めに入って両プレーヤーを警告し再開した。

殴ったキーパーを警告で良かったのか。あの場面ではあれで良かったと思えるという意見も有ったが、競技場内での暴力行為は追放しなければならないということがルール上はっきり示されているので、追放にしなかったのはミスである。

さて、キーパーの顔面に当てたことに対する処置をどうするのか。故意と見るかどうか。誰も得点したくて打つのであり、キーパーに当てようとは思っていないとか、このケースはキーパーが防御に動いて来ていると見た。だから故意に当てたとは判断出来ない。と言った意見が出されたが、私は、あの場合暴力を振るったキーパーは追放、シューターは2分間の退場で処置するのが妥当ではないかと話した。ところが、退場にさせる根拠は何か。ルールでは、7mスロー時に、静止しているキーパーの顔面に当てることは重大な反則であると示されているが、その他の場面に関しては示されていない。それを退場とする根拠は何かという質問があった。

ルール上特に限定した状態は示されていないが、競技運営をスムーズに展開するためには、その状況に応じた処置をすることも有り得るという説明をした。

■7月27日　16:00～17:30

昨日のアイスランド対全日本のゲームで、アウターゴールラインぎりぎりから中に入ってシュートする場面で起こる接触について、最初はディフェンスの反則としてフリースロー、2回目は同じようなケースで、7mスロー・2分間の退場。

ディフェンスに落ち度がなかったか、シューターが絡みに行ったかをよく見ること。

＊鄭亨均氏の講義の中で起こりうる反則について

ディフェンス（胴体・腕・足を使って）

・チャージングとは
・エリア内侵入があった場合
・7mスローになるケース、ならないケース

オフェンス

・ブロックプレーとは
・反則されてのオーバーステップ等について話し合った。

総合的に、ハードとラフを見抜いて盛り上がりのある試合を作るように話し、閉会した。

✤ ✤ ✤

コーチ・レフェリーシンポジウムを受講して

株式会社シャトレーゼ　村山みどり

今回のシンポジウムの講師である鄭亨均先生には、東京女子体育大学の学生の頃から合宿等で随分お世話になっていました。

フェイント・ポストプレー・速攻という講習内容は韓国のハンドボールを世界のトップレベルまで引き上げた数々の技術の中でも特に興味深い部分であると思います。学生の頃も合同練習では、何事も基本は脚だということで脚を使ったトレーニングが多くトレーニング内容の厳しさに驚いていました。今回も脚の練習にかなり重点を置いているという印象を受けました。トレーニング内容は、小学生、中学生の選手には難しいと思いますが、高校、大学のトップレベルのチームや実業団のチームであればアレンジ次第で十分取り入れていける内容でした。

時期的なこともあり受講者の人数が少なかったのが残念でした。受講者の人数増加の為にも、ブロックごとの開催や年間の開催回数を増やすといった開催方法の見直しをすれば、より参加しやすくなるのではないかと思います。

最後に、個人的な意見ですが、私はゴールキーパーを主に指導しているのでゴールキーパーのトレーニング方法等もできれば講習内容に取り入れていっていただきたいと思います。



平成10年度C級コーチ養成講習会を顧みて

神奈川県立麻生高等学校
石川泰弘

平成10年度財団法人日本体育協会・財団法人日本ハンドボール協会主催、公認C級コーチ養成講習会（専門教科講習会）が、平成10年6月29日（月）～7月4日（土）の6日間、富士の裾野、緑豊かで自然に恵まれた御殿場市にある「富士のさと」（国立中央青年の家）において開催されました。

《講習会の意義》

今講習会の趣旨は、スポーツの振興と競技力向上に携わる指導者の資質及び指導力の向上を図り、指導活動の促進と指導体制を確立すること、併せてスポーツの普及発展のための指導体制の確立にあります。21世紀に向け、スポーツをより発展させていくためには、チームの目的に応じた適切な方向に導くことのできる指導者、専門的知識を有した指導者の養成等が必要であると考えられます。

《コーチの意味》

「コーチ」という語の意味を英英辞典（The American College Dictionary）で調べると、名詞では「競技会で優秀な成績を収めるように選手を鍛える人」、「学生が自力で良い成績が得られるように準備する人」。自動詞では「コーチが教えるべきことを選手と共に研究すること」、「知識や技術を与え授けること」。次に、他動詞では「コーチの能力の範囲内で教えたり助言したりすること」となっています。

つまり、この「コーチの能力の範囲内で」ということの意味は大変興味深いものです。この能力は、当然、固定的不変的なものではなく、流動的可変的なものと捉えることができるのではないでしょうか。つまり、指導者は研修、研鑽、研究を積む人であることが前提にあるということです。

過去においての経験的指導法から脱却し、科学的理論、技術論、戦術・戦略、さらには障害予防等、幅広い知識が必要であるということです。

《内容報告》

公認C級コーチ養成講習会の具体的内容は、次の通りです。（敬称略）

(1) ハンドボールの発展（大西武三）
- ハンドボールの歴史的変遷

(2) ハンドボールのルールとレフェリング（斎藤　実）
- 競技運営と罰則の変遷

(3) ハンドボールの生理学・体力トレーニング（田中　守）
- ハンドボール競技に必要とされる体力について、体力づくり、体力トレーニングの実際、オルソン監督体制下での体力づくり、児童期の発展特性と課題

(4) ハンドボール理論（スタニスワフ　コヴァルスキー）
- コーチの役割、自己評価とチーム評価の意義、ゲーム分析と技術分析の必要性、選手の特性、欧州と日本の選手の違い

(5) ハンドボールの実技（スタニスワフ　コヴァルスキー）
- フットワーク、パスワーク、シュート、セットオフェンス、セットディフェンス、速攻

(6) 義務教育期の指導法（角　紘昭）
- 子供を取り巻く環境、子供とは、指導者としての基本的な考え方、指導の手立て、スポーツ教室の開催

(7) ハンドボールの技術、戦術の構造（大西武三）
- 基本動作、個人技術、個人戦術、チーム戦術、攻撃の原則、防御の原則、戦略、作戦

(8) 日本の競技力の現状と問題点（野田　清、蒲生晴明、緒方嗣雄）
- 日本ナショナルチームの現状、目標、強化方針、今後の課題

(9) ハンドボールのバイオメカニクス（清水宣雄）
- ボールスピードと回転、ブロックの相関関係実験

(10) 他競技コーチ論　―私の体験的指導論（勝沢　要）
- サッカーの魅力、清水東高校時代に目指したもの、熱海高校時代に目指したもの、良いチームとは、指導者としての心構え

(11) ハンドボールの指導計画及び計画案の作成（大西武三）
- ゲーム→診断・評価→処方→実施による自己評価とチーム評価、評価の観点

(12) 日本、韓国、欧州比較ハンドボール論（黄　慶泳、朴　英大、藤本　元）
- 生活環境、選手強化、目的意識、養成組織等

(13) ハンドボールの安全対策―障害とその処置（井上良太）
- 足首、膝、腰、肩等の障害の処置と運動処方の実習

(14) ハンドボールの指導実習（大西武三）
- パス、フェイント、ジャンプシュート、フットワーク等を楽し



く、また、理解しやすく学ばせる指導法

以上の内容で講習が行なわれました。講習は、広い分野に渡り指導者として基礎的、専門的な内容でした。

今講習会で学び取ったさまざまな知識を今後の指導場面で生かすとともに、指導者を養成することが、結果的にハンドボールの普及発展につながり、さらには日本ハンドボール界の発展につながっていくと信じています。

最後に、今講習会のためにご尽力いただきました関係各位に心より御礼申し上げます。





学校体育ハンドボール検討委員会

福岡県福岡市立堤小学校　米沢弘海

1　単元・ハンドボール（3年生）

2　子どもたちの準備状況

3年には、体力面・技術面でふさわしいと考えます。また、ドッジボールに興味を持つ発達段階ですが、ボールを取ったり投げたりシュートしたりする技能を伸ばすのにふさわしいと思います。

3　種目特性のとらえ方

ほぼ正規のルールでできると思います。3年生のレベルの戦術として考えられるのは、攻撃するものがゴール近くにいてボールをもらってシュートしたり、守るものはシュートする人の前で守るなどです。

4　ねらい

●ルールやチームの仲間に慣れ、できるパス、ドリブル、シュートを使いながらゲームを使いながらゲームを楽しむことができる。
●ボール扱いや、攻め方、守り方を工夫してゲームを楽しむことができる。

5　学習指導計画

8時間計画のポートボールに準じていいと思います。前半は試合やルールになれる意味で総当たり戦にして、後半をねらいの2つ目を考えながらステージ型にしたらどうかと考えます。

6　実践結果

1時間目よりも2時間目、2時間目よりも3時間目と子どもの動きが生き生きと楽しみながらやっている様子が、とてもはっきりと感じることができました。子どもたちにとってボールが小さいために投げたり、取ったりがしやすく、このゲームにとても親近感をもってくれました。プレーを見ていて、遠くから投げたのでは得点にならないことにだんだん気づいていくようです。得点がなかなか入らないところが緊迫感を生み、とても意欲的になっているようです。最初のうちは守り方もわかりませんでしたが、徐々にシュートする人の前で手を広げて打たせないようにすればいいことに気づいてきました。シュートになれていないため、コントロールがうまくいかず、キーパーの正面に行くことが多いようです。進んだチームはポストの所にいてパスをもらってすぐにシュートしようという児童もいました。ゴールも持ち運びが大変でしたが、みんなで力を合わせて一人のけが人も出さないことを考えながらすることで、クラスの団結力が高まりました。

私の感覚として、ポートボールよりも子どもたちは生き生きと喜んで取り組むことができることに確信を持ちました。早く小学校の指導内容にハンドボール競技が取り入れられるようになることを望んでいます。それはハンドボール界の人気とレベルを上げるうえできっと大きな力になることでしょう。

7　児童の感想

●ハンドボールはポートボールよりも楽しいです。わけはポートボールよりもハンドボールの方がゴールが広いし、シュートするときはなげあいみたいにできるからです。
●ハンドボールはサッカーみたいに楽しい。みんなでボールをまわして、人のことを考えてボールがまだまわっていない人にわたしたりするからです。
●ハンドボールはポートボールみたいでした。ハンドボールはポートボールよりゴールが広いしおもしろいです。
●はじめてハンドボールをしました。私は、ゴールキーパーをしました。ちょっとむずかしかったです。わけはいろんな所にボールがとんできたからです。でも強気でボールを取ったらいろんな人のシュートが取れました。取れたとき心の中で「やった－」と思いました。
●私はハンドボールをして「ちょっとむずかしい」と思いました。なぜならボールをみんなが投げるので取るのがむずかしいからです。

◇　◇　◇　◇　◇

寄稿募集要項

この度、機関誌編集委員会では日本協会機関誌に掲載する「日本ハンドボール界発展に貢献すると思われる建設的かつ、発展的なご意見、ご提案」を大々的に募集いたします。また、各地で実践している活動報告なども大歓迎です。寄稿要項は以下の通りです。奮ってご参加下さい。

①掲載は署名入りとして、所属県もしくは所属団体を明記して下さい。（匿名はご遠慮下さい）
②内容は建設的で、発展性のあるもので、第三者を中傷したりしないものに限らせていただきます。
③写真掲載を希望される場合は同封して下さい。尚、写真の選定につきましては編集委員会にお任せ下さい。また、写真返却の都合上、写真裏には必ず、氏名をご記入ください。
④字数は2000字（機関誌１ページ分）を限度と致します。
⑤原稿は郵送またはＦＡＸにてお願いいたします。郵送の場合の原稿の返却は行いません。
郵送の場合；〒150-8050　東京都渋谷区神南１丁目１番１号　岸記念体育館内
（財）日本ハンドボール協会　機関誌編集委員会　宛
ＦＡＸの場合；03-3481-2367（機関誌編集委員会と明記してください。）
⑥機関誌をお送りするため、原稿送付時に機関誌送付先（住所，電話番号，ＦＡＸ番号等）を明記してください。

原稿作成上の注意点

- 「大見出し；表題」は必ず付けてください。
- 文章の語尾は、「‥‥です、‥‥ます」または「‥‥である」で統一してください。
- 原則として、原文に忠実に掲載いたしますが、意味不明な部分や、表現、語尾に不統一な部分が見られる場合には、編集委員会の責任において修正させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 記事の書式は自由ですが、手書き、もしくはワープロ等で作成して下さい。手書きの場合は楷書体でていねいにお書き下さい。

訂　正

※先月号13頁の、『第41回全日本教職員大会組み合せ』の開催地が、「石川県・石川町総合体育館」となっていましたが、「福島県・石川町総合体育館」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

※先月号31頁の、『「創立60周年記念誌」が出来上がりました!!』の払込用紙の口座番号に誤りがありました。右記のようにご訂正ください。

払込取扱票

口座番号（右詰めにご記入ください）　00120-~~4~~ 7　~~58348~~ 10293
金額　46000
加入者名　財団法人 日本ハンドボール協会
料金　120　特殊取扱
通信欄
財団法人日本ハンドボール協会
創立60周年誌代金
頒布価格 5000円　消費税＋送料 1000円
合計 6000円
払込人住所氏名　（郵便番号）150-0041
東京都渋谷区神南1-1-1
送球花子
（電話番号）03-3481-2361
受付局日附印
この払込取扱票は、機械で処理しますので、枠内に丁寧に記入してください。また、枠内を汚したり、この票を折り曲げたりしないでください。

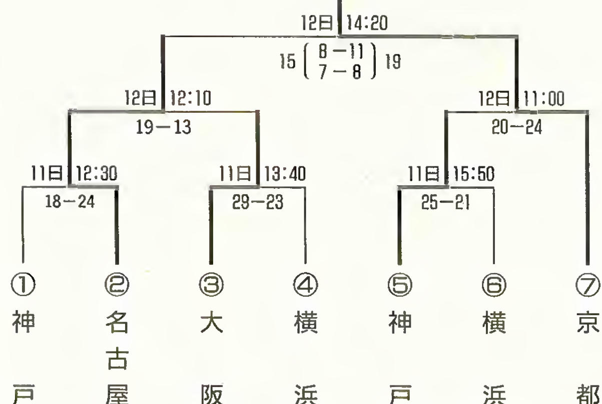
切り取らないで郵便局にお出しください。

払込票

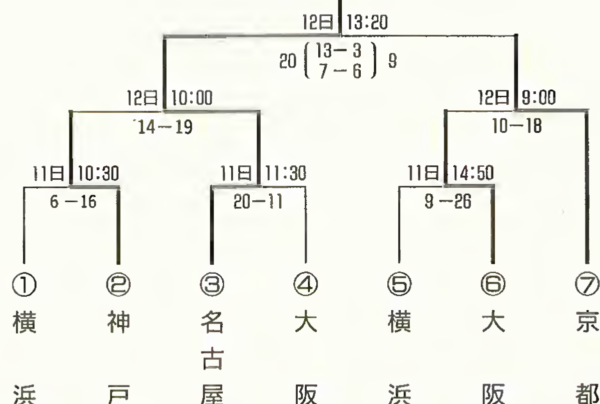
口座番号　00120-~~4~~ 7　~~58348~~ 10293
加入者名　財団法人日本ハンドボール協会
金額　46000
払込人住所氏名　150-0041
渋谷区神南1-1-1
送球花子
料金　円
受付局日附印
特殊取扱

第49回五大都市体育大会ハンドボール競技

【男子】



【女子】



『JHLニュース』定期購読のご案内

全国ハンドボールファンの皆さん！　待ちに待った日本リーグのシーズンがやってまいりました。

今年の目玉は、なんといっても昨年の「男子世界選手権・熊本」でおなじみのフランスチームに所属し、昨年度のMVPに輝いたストックラン選手が、本田技研から出場することです。その他のチームにも外国籍選手が新たに加入し、日本リーグもますますおもしろく、ダイナミックになってまいりました。

こんなおもしろい日本リーグの熱戦の結果や個人記録、さらには次週の展望など話題豊富な「JHLニュース」を見たい、読みたいと思いませんか？

思いついたそんなあなた、今すぐ下記までお問い合わせください。

[特　　典]　お申し込みいただいた方には特典として
①第23回日本ハンドボールリーグ総合プログラム
②第23回日本ハンドボールリーグオリジナルテレホンカードをプレゼントいたします。

[発行予定]　1998年9月～1999年3月　計15回
[購 読 料]　期間購読　4200円（税込み）
[問い合わせ先]　日本ハンドボールリーグ運営委員会
☎03−3481−2361　小松、中嶋まで

HAND BALL **CONTENTS** SEPTEMBER

柔らかな感触で、最適なバウンド!

新発売



new

PKCH3-AD DX
5,500円



new

PKCH2-AD DX
5,400円



new

PKCH1-ADJ
3,600円

アデランテ　前進

手縫い・国際公認球

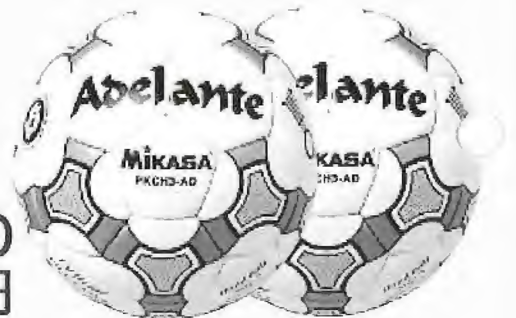




PKCH3-AD
4,600円



PKCH2-AD
4,500円





PKCH3-ADR
2,800円



PKCH2-ADR
2,700円

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社



（財）日本ハンドボール協会編　『ハンドボール』　第三八九号

昭和四十年六月七日　第三種郵便物認可

平成十年八月二十六日印刷　平成十年九月一日発行

都渋谷区神南一－一－一
電話　代表　三四八一－二三六一
振替　〇〇一二〇－七－一〇二九三

編集兼発行人　市原則之

価格は登録金に含む